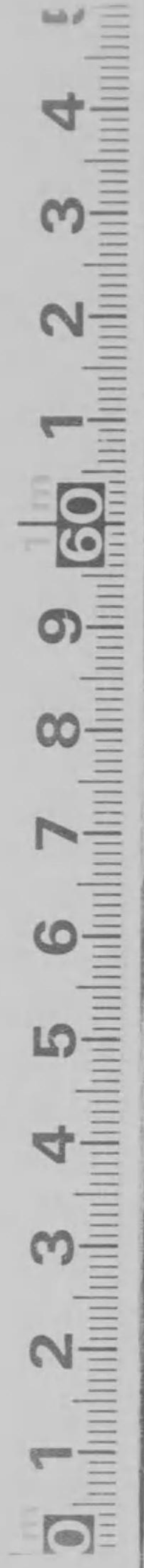


始



6

HOW TO CORRECT ERRONEOUS SENTENCES

by
T. WAKAMEDA



OKAMURA SENIATSU

32

476

of

氏名

角田元

氏名

角田義

波納

物 276 323-496
361

HOW TO CORRECT
ERRONEOUS SENTENCES

文 法 應 用

誤れる英文の正解法

若 目 田 武 次 著



1925
12. 5. 16
内 文

TOKYO

SHAKAISHA

ASAKUSA

111

緒言

1. 英文法の效用

英文法を學ぶ目的は英文を正しく理解し又正しく書くために主として存するのである、専門の文法家は別として普通の英語修學者は語法の大體に通ずるためにも一度は是非文法を一わたり目を通さなければならぬ、處が文法書はいづれも grammarian に依つて書かれたもので、文法家の中には新説をたてるのに急て専門家以外の人には種々の新分類法や名稱に惑はされて肝心の語法に通ずると云ふ點からは縁が遠くなる場合が往々ある、極端な例かも知れぬが名詞の種類がいくつあるかを知つたからとて英文を解する方には少しもならない、本を讀んでゐる時にこれは物質名詞あれは普通名詞これは何々動詞と一々分類してゐては肝心の内容の興味や本當の意味は味ふことが出来なくなる、日本人が日本の新聞を見る時に一々文法の詮議などしてはゐない、これは何の爲であるか、日本人は日本文に慣れてゐるためである、要するに文法は一般人にとつては語學上達的手段に過ぎない。

英文法を學ぶにもその通りで英語を正しく解し正しく書くためである、だから相當に英文が讀めたり書けたりするやうになつては文法は殆ど必要がないと云つても過言ではない、學生諸君もこの點をよく了解して文法に對して戴きたい。

2. 英文法の學び方

しからば英文法を學ぶには如何なる方法をとつたら好いか、英語の先生になる人の學び方は茲には云はない、此處では受験生諸君の

ために云ふのである、學生諸君の中には文法を數學と同様に心得て理論的に扱ふことが出来ると思つてゐる人も少くないやうである、然しかゝる考は甚だ誤つてゐる、勿論文法だとして system のないものではないから、規則もあるし分類もしてある、然し文法には例外が多いことを知らなければならない。

英文法は圍碁の定石のやうなものである、碁を學ぶには定石を知らなければならない、定石も活用の眞意を誤れば圍碁の大局に大影響を及ぼすと同様に、文法もなまなか無暗にかつぎ出すと英文を讀んだり書いたりする上に大影響を及ぼすことがある、定石をいくら研究したとてそれ計では碁は決して強くなる、やはり大家の打碁を専心に研究して全般に亘つてその眞意を悟らなければ駄目である、定石の研究が碁の上達に對して萬能でないと同様に、英文法の研究が英語上達に對して萬能でない、英文をよく讀んだり書いたりするには大家の文を様々に研究するに在る、勿論この以前に文法は一通り知つて置かなければならぬ。

さてそれなら文法を研究するには如何なる方法に依つたらよいか、この問題をすぐ云ふ積であつたのが側道へそれて終つた、高等程度の官私立學校の入學受験生ならば中學五年程度の文法二三種を研究して置けば充分であると思ふ、あまり委しい事を知る要はないと思はれる、或る學生は close to と close by とは何う違ふとか、He is gone と He has gone とはどう違ふとか教師にきいたがこれ程の研究はしなくてもよからうと思ふ、尤も He is gone と He has gone との意義の差を或る學校では問題として出したさうだがこれは文法家に依ると同義であると云つてゐる位であるから私の考では中學卒業程度の學生を試験する問題としてはこれは少し無理であらうと思はれる。

3. 文法と譯讀

學生諸君の中には文法と譯讀とを全然引き放して考へてゐる人もあるやうだが實は密接の關係がある事は一考しても明瞭であらう、英文法の實例は常に讀本中に充満してゐるのであるから文法を學修中は常に讀本に注意して前置詞の用法や動詞の tense や mood の用法や其他文法に關する種々の事項を讀本の中より實例として見出すことに心掛ける要がある。

4. 文法と和文英譯

英文法と和文英譯とは尙更密接の關係がある、殊に日本人などにとつては英文法を知らずに英譯は不可能である。

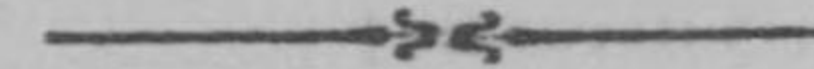
5. 文法は英語研究の基礎

以上述べた所に依つて文法は英語研究の基礎をなすものであることが分らう、英語をよく讀んだりよく書いたりするには是非一通りの文法の知識がなければ駄目であることを繰返して茲に云つて置く。

**HOW TO CORRECT
ERRONEOUS SENTENCES**

BY

T. WAKAMEDA



1 9 2 3

OKAMURA SEIKADO

誤れる英文の正解法

—目 次—

緒 言	1
1. 英文法の効用.....2. 英文法の學び方	
3. 文法と譯讀.....4. 文法と和文英譯	
5. 文法は英語研究の基礎.....	1-3
第一編 緒 論.....	1
第一章 品 詞 (Parts of Speech)	1
第二章 文 章 (Sentence)	3
第三章 品詞の變化 (Modification)	7
第二編 品詞の種類と變化	11
第一章 品 詞 (Noun).....	11
1. 名詞の種類	11
2. 性 (Gender)	14
3. 數 (Number).....	16
4. 格 (Case)	19
第二章 代名詞 (Pronoun)	25
1. 代名詞の種類	25
2. 人稱代名詞 (Personal Pronoun)	26

目 次 (3)

3. 所有代名詞 (Possesive Pronoun).....	31
4. 形容代名詞 (Adjective Pronoun)	33
5. 關係代名詞 (Relative Pronoun)	37
6. 疑問代名詞 (Interrogative Pronoun).....	43
第三章 形容詞 (Adjective).....	43
1. 形容詞の種類.....	43
2. 代名形容詞 (Pronominal Adjective)	44
3. 數量形容詞 (Quantitative Adjective)	48
4. 修飾形容詞 (Qualifying Adjective)	51
5. 比較 (Comparison)	54
第四章 冠 詞 (Article)	57
1. 冠詞の種類.....	57
2. 不定冠詞 (Indefinite Article)	58
3. 定冠詞 (Definite Article)	60
第五章 動 詞 (Verb)	64
1. 動詞の種類	64
2. 人稱と數 (Person and Number)	63
3. 動詞の變化 (Conjugation).....	70
4. 時 (Tense).....	73
5. 時の用法 (Use of Tense)	79
6. 態 (Voice)	82
7. 助動詞 (Auxiliary Verb)	84
8. 不定法 (Infinitive)	87
9. 分詞 (Participle)	90
10. 動詞狀名詞 (Gerund)	91
第六章 副 詞 (Adverb).....	93

第七章 前置詞 (Preposition).....	97
第八章 接續詞 (Conjunction)	100
第九章 間投詞 (Interjection)	104
<hr/>	
英文法試験問題と解答	106
各専門学校検定試験問題と解答	106
鹿兒島高等農林学校、金澤高等工業学校 米澤高等工業学校、鹿兒島高等師範学校 陸軍士官学校、海軍兵学校	
英文法模擬試験問題集	151
解 答	173

第一編 緒 論

第一章 品 詞 (Parts of Speech)

1. 品詞とは言語の種類を云ふのである。
2. 八品詞。——英語には八種の品詞がある。
名詞、代名詞、形容詞、冠詞、動詞、副詞、
前置詞、接續詞である。
3. 名詞とは物の名を云ふのである。
Japan, Kiyomasa, book, wine, wealth.
4. 代名詞とは名詞の代りに用ひる言葉である。
I, you he, she, it, mine, hers.
5. 形容詞は名詞又は代名詞の意味を限るために
用ひらるゝ言葉である。

{ He is a good man.
{ 彼は善人である。

{ Yoshitsune was a great man.
{ 義経は偉い人であつた。

6. 冠詞は名詞を制限するために用ひられる a 又
は the を云ふのである。

{ A horse is a useful animal.
{ 馬は有用なる動物である。

{The maid-servant came to me.
{下女は私の所へ来た。

7. 動詞は働作又は存在を示す言葉である。

{He lived there, and worked hard.
{彼は其處に住んで居た、そして大いに働いた。

8. 動詞を助けその動詞の一部となる動詞を助動詞と云ふ。

{I shall come again.
{私はまた来ませう。

9. 副詞は動詞又は形容詞の意味を制限するために用ひられる語である。

{I got up early.
{私は早く起きた。

10. 前置詞は名詞又は代名詞と他の語の意味の關係を示すために用ひられる語である。

{He went to Oiso.
{彼は大磯へ行つた。

11. 前置詞の後に來る名詞又は代名詞はその目的格と呼ばれる。

{He gave it to me.
{彼は私にそれをくれた。

12. 接續詞は語又は文章 或る部分を聯結するために用ひられる言葉である。

{He and I went together.
{彼と私とは一所に行つた。

13. 八品詞の外に間投詞と稱する一種の品詞がある、これはある感情を表はす言葉である。

{Alas! He died.
{あゝ、彼は死んだ。

第二章 文章 (Sentence)

1. 文章とは完全な思想を表はす言葉の結合を云ふ。

{The earth goes round.
{地球は廻轉す。

2. 文章の主格とは earth の如く思想の主題となるものを云ふ。

[注意] 文章は必ず頭文字を以て始めねばならぬ。

3. 賓辭とは主格の動作状態等を述べる言葉を云ふ。

{The earth goes round.
{地球は廻轉する。

上記の文章に於いて goes round は賓辭である。

4. 動詞の目的格とは主格より働作を受ける言葉を云ふ。

{The boy caught a fish.
{小供は魚を捕へた。

即ち fish は主格 boy より caught と云ふ働作を受けたのである。

5. 補足語とは動詞の意味を完全にするために用ひられる詞である。

{He is a student.
{彼は學生である。

即ち He is だけでは意味が不完全である故 a student といふ補足語を附加して文章の意味を完全にしたのである。

6. 主格補足語と目的格補足語。——主格の名詞又は代名詞と同一物を示す補足語を主格補足語と云ひ、目的格の名詞又は代名詞と同一物を示す補足語を目的格補足語と云ふ。

{He is a student.
{彼は學生である。

{His father made him a teacher.
{彼の父は彼を教師にした。

即ち student は主格 he と同一物を示すを以て主格補足語と云ひ、第二の例の teacher は目的格 him と同一物を示す故目的格補足語と云ふ。

7. 叙述文 (Assertive Sentence) とは事實を叙述する文章を云ふ。

{He works hard.
{彼は大に働く。

8. 疑問文 (Interrogative Sentence) とは疑問を發する文章を云ふ。

{Does he work hard?
{彼は大に働くか。

9. 命令文 (Imperative Sentence) とは命令又は願望を表はす文章を云ふ。

{Work hard.
{大に働け。

10. 感歎文 (Exclamative Sentence) とは感歎を表はす文章を云ふ。

{How hard he works!
{大へん彼は働く。

11. 肯定文 (Affirmative Sentence) とは打消を含まざる文章を云ふ。

{ He works hard.
{ 彼は大に働く。

12. 否定文 (Negative Sentence) とは打消の語を含む文章を云ふ。

{ Never tell a lie.
{ 決して虚言を云ふな。

第三章 品詞の變化 (Modifications)

1. 品詞の變化とはその文法上の變化を云ふ。
2. 數 (Number) とは名詞又は代名詞の變化にして人或は物の單數複數を示す。
3. 單數 Singular (Number) とは人或は物の單一を示す。——a river, a country.
4. 複數 (Plural Number) とは人或は物の一つ以上を表はす。——Two men, three cups.
5. 人稱 (Person) とは代名詞の變化にして「話す人」「話しかけられる人」又は「話中に出る人」を表はす。

6. 第一人稱 (First Person) とは「話す人」を示すと。——I, we.

7. 第二人稱 (Second Person) とは話しかけられる人」を示す。——you.

8. 第三人稱 (Third Person) とは「話中に出る人又は物」を示す。——he, she, it, they.

9. 動詞の數と人稱はその主格に一致せねばならぬ。

{ I am a student. (第一人稱單數)
{ 私は學生である。

{ They are teachers. (第三人稱複數)
{ 彼等は教師です。

10. 格 (case) は名詞又は代名詞の變化にして他の語との關係を示す。

11. 主格 (Nominative case) は動詞の主格を示す。

{ I went there.
{ 私は其處へ行つた。

12. 所有格 (Possessive case) は所有者を示す。

{ This is my book.
{ これは私の本です。

13. 目的格 (Objective case) とは動詞又は前置詞の目的を示す。

{They saw me.

{彼等は私を見た。

{I am afraid of that dog.

{私はあの犬が怖い。

14. 性 (Gender) とは名詞又は代名詞の變化にして性を示す。

15. 男性 (Masculine Gender) は即ち男性を示す。

he, man.

16. 女性 (Feminine Gender) は即ち女性を示す。

she, woman.

17. 通性 (Common Gender) は男女兩性に共通の性を示す。——friend, you.

18. 中性 (Neuter Gender) は無性物を示す。——mountain, book, it.

19. 比較 (Comparison) は形容詞又は副詞の變化にして程度又は比較を示す。

20. 原級 (Positive Degree) は單なる性質を示す。

{Mt. Fuji is high.

{富士山は高い。

{He worked hard.

{彼は大に働いた。

21. 比較級 (Comparative Degree) は性質の一層優れる程度を示す。

{That mountain is higher than this.

{あの山はこれよりは高い。

{He worked harder than I.

{彼は私より一層働いた。

22. 最上級 (Superlative Degree) は性質の最も優れたるを表はす。

{That mountain is the highest of all.

{あの山はすべての中で一番高い。

{He worked hardest.

{彼は最も働いた。

23. 時 (Tense) は動詞の變化にして働作又は状態の時を示す。

24. 現在 (Present) は現在の働作又は状態を示す。

{He is there.

{彼はそこにある。

{I work hard.

{私は大に働く。

25. 過去 (Past) は過去の働作又は状態を示す。

{He was there.

{彼はそこにゐた。

{I worked hard.

{私は大に働いた。

26. 未來 (Future) は未來の働作又は状態を示す。

{He will be there.
{彼はそこに来るでせう。

{I shall work hard.
{私は大に働くでせう。

27. 態 (Voice) は動詞の變化にして主格が働を爲す者か又は受ける者かを示す。

28. 他働態 (Active Voice) は主格が働作を爲す者たるを示す。

{The dog follows me.
{犬が私について来る。

29. 被働態 (Passive Voice) は主格が働作を受ける者たるを示す。

{I am followed by the dog.
{私は犬について来られる。

第二編 品詞の種類と變化

第一章 名詞 (Noun)

1. 名詞の種類

1. 名詞には五種ある。

a. {Japan conquered Russia.
{日本は露國に勝つた。

b. {The horse is a useful animal.
{馬は有用な動物である。

c. {People saw the army marching.
{人々は軍隊の進行するのを見た。

d. {Iron is a useful metal.
{鐵は有用なる金屬である。

e. {Swimming is good for health.
{水泳は健康に良し。

a. に於ける Japan, Russia の如く物に固有の名を固有名詞 (Proper Noun) をいふ。

b. に於ける horse, animal の如く同種類の物に通有の名を普通名詞 (Common Noun) と云ふ。

e. に於ける people, army の如く集合體の名を集合名詞 (Collective Noun) と云ふ。

d. に於ける iron の如く物質を示す名詞と物質名詞 (Material Noun) と云ふ。

e. に於ける Swimming, health の如く無形の状態又は性質を示す名詞を抽象名詞 (Abstract Noun) と云ふ。

2. 固有名詞とは一物一人に固有の名である。
Asia, England, Kato, George, Daily Mail, Thames.
3. 普通名詞は一般に通ずる物の名である。
man, sea, bird, book.
4. 集合名詞は同種類の物の集合の名である。
people, army, nation, furniture, family.
5. 物質名詞は物質の名である。
Iron, gold, sugar, wine, water.
6. 抽象名詞は働作又は性質の名である。
Health, wealth, truth, idleness.

練習

(a) 名詞の種類を名指せ。

1. I went to Nikko last year.
私は昨年日光へ行つた。
(Nikko は固有名詞, year は普通名詞)

2. We waited at the station.
我々は停車場で待つた。
(Station は普通名詞)
3. Gold is a precious metal.
金は貴金屬である。
(Gold は物質名詞, metal 物質名詞であるが、此場合では普通名詞として取扱はれてゐる)
4. Health is better ^{than} wealth.
健康は富に優る。
(Health と wealth は共に抽象名詞)
5. The British squadron attacked the port.
英國艦隊はその港を攻撃した。
(Squadron は集合名詞, port は普通名詞)
6. England is a powerful country.
英國は強國である。
(England は固有名詞, country は普通名詞)
7. My family are all well.
私の家族は皆達者です。
(Family は集合名詞)
8. Honour is more precious than money.
名譽は金より尊し。
(Honour は抽象名詞, money は物質名詞)

9. We must not neglect **learning**.

我々は學問を等閑にしてはならぬ。

(Learning は抽象名詞)

[注意] 次の如き誤に陥らぬやう注意せねばならぬ。

誤

He is **idleness**. 彼は怠けてゐる。

I am **mistake**. 私は誤つてゐる。

He is **absence**. 彼は不正です。

正

He is **idle**. 彼は怠けてゐる。

I am **mistaken**. 私は誤つてゐる。

He is **absent**. 彼は不正です。

2. 性 (Gender)

1. 男女法を區別するに三種ある。

(1) 語尾の變化に依つて。

男性	女性
Actor (役者)	Actress (女優)
Master (主人)	Mistress (女主人)
Lion (獅子)	Lioness (牝獅子)
Emperor (天皇)	Empress (皇后)

(2) 例の語を用ひて。

男性	女性
King (王)	Queen (女王)
Boy (男の子)	Girl (女の子)
Cock (牡鷄)	Hen (牝鷄)
Brother (兄弟)	Sister (姉妹)
Uncle (伯父)	Aunt (伯母)

(3) 名詞の前又は後に性を示す語を附して。

男性	女性
Man-servant (下男)	Maid-servant (下女)
He-goat (牡山羊)	She-goat (牝山羊)
Pea-cock (孔雀)	Pea-hen (牝孔雀)

練習 二

(a) 名詞の性を云へ。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. duke. | 2. teacher. | 3. cousin. |
| 4. nephew. | 5. child. | 6. parent. |
| 7. school. | 8. ship. | 9. death. |

(a) の答

- | | | |
|--------|------------|--------|
| 1. 男性。 | 2. 通性。 | 3. 男性。 |
| 4. 男性。 | 5. 通性。 | 6. 通性。 |
| 7. 中性。 | 8. 女性又は中性。 | 9. 中性。 |

(b) 次の名詞の性と反対の性の名を云へ。

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| 1. woman. | 2. cow. | 3. widow. |
| 4. baron. | 5. god. | 6. grandson. |
| 7. tiger. | 8. hero. | 9. landlord. |

(b) の 答

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| 1. man. | 2. ox. | 3. widower. |
| 4. baroness. | 5. goddess. | 6. granddaughter. |
| 7. tigress. | 8. heroine. | |
| 9. landlady. | | |

3. 数 (Number)

1. 前に述べた通り数に二種ある、単数と複数とである。

2. 複数の作り方。——通常単数に s を加へて作る。

- | | |
|--------------|----------------|
| Book, books. | Boy, boys. |
| Day, days. | River, rivers. |

3. 若し語尾が s, sh, ch, 又は x で終る名詞の場合には es を附するのである。

- | | |
|-------------------|---------------|
| Ass, asses. | Fox, foxes. |
| Branch, branches, | Dish, dishes. |

4. O に於いて終る名詞も大概は es を加へて複数とする。

- Hero, Heroes. Potato, Potatoes.

5. 語尾が y で終つて、その前に子音がある時は y を i に變じて es を附す。

- | | |
|---------------|---------------|
| Baby, babies. | Lady, ladies. |
| city, cities. | Fly, flies. |

6. 語尾が f 又は fe ならばこれを v に變じて es を附す。

- | | |
|---------------|-----------------|
| Leaf, leaves. | Half, halves. |
| Life, lives. | Thief, thieves. |
| Wolf, wolves. | Knife, knives. |

7. 然し次の名詞は例外である。

- | | |
|----------------|----------------|
| Proof, proofs. | Roof, roofs. |
| Gulf, gulfs. | Hoof, hoofs. |
| Handkerchief, | handkerchiefs. |
| Chief, chiefs. | Safe, safes. |

8. 複数の不規則の形。——母音を變じ又は綴を増して作る。

- | | |
|---------------|---------------|
| Foot, feet. | Man, men. |
| Goose, geese. | Tooth, teeth. |

Mouse, mice. Woman, women.
Ox, oxen. Child, children.

9. 単数と複数と同形の名詞。

Sheep; deer; fish(es); pair(s); plenty of water; plenty of books; the rest of the wine; the rest of the apples.

[注意] 日本語の sen (錢) yen (圓) rin (厘) 等も 単数複数共に同形を用ひる。

練習三

(a) 次の名詞を複数に変ぜよ。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. donkey. | 2. lady. | 3. wolf. |
| 2. story. | 5. chief. | 6. woman. |
| 7. ox. | 8. sheep. | 9. shelf. |

(b) の 答

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. donkeys. | 2. ladies. | 3. wolves. |
| 4. stories. | 5. chiefs. | 6. women. |
| 7. oxen. | 8. sheep. | 9. shelves. |

(b) 次の名詞を単数に変ぜよ。

- | | | |
|-----------|---------------|-----------|
| 1. mice. | 2. halves. | 3. flies. |
| 4. sheep. | 3. volcanoes. | 6. deer. |
| 7. teeth. | 8. men. | 9. feet. |

(b) の 答

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. mouse. | 2. half. | 3. fly. |
| 4. Sheep. | 5. volcano. | 6. deer. |
| 7. tooth. | 8. man. | 9. foot. |

(c) 次の文章を英譯せよ。

- 彼は湯を三杯飲んだ。
- 吾人は米を食ふ。
- 日露戦争には幾多の勇士が現れた。
- あの戦争では多くの人命を失つた。
- 英語で女神を何と云いますか。
- Goddess と云ひます。

(c) の 答

- He drank three cups of hot water.
- We feed on rice.
- Many heroes appeared in the Russo-Japanese war.
- Many lives were lost in that war.
- What do you call "megami" in English?
- We call it "Goddess" in English.

4. 格 (Case)

- 格に三種あり、主格 (Nominative) 所有格 (Possessive) 及び目的格 (Objective) である。
- 補足語の格。——主格補足語は主格を用ひ、目的格補足語は目的格補足語を用ひる。

主 格

{He was made premier.
彼は總理大臣にされた。

目的格

{The people made him premier.
國民は彼を總理大臣にした。

3. 同格に用ひられた場合。

1. {Doppo the novelist died young.
小説家獨歩は若死にをした。
2. {Doppo the novelist's life is worth sympathy.
小説家獨歩の生涯は同情は値ひす。
3. {I like Doppo the novelist.
私は小説家獨歩を好む。

novelist は Doppo と同一の人を指す、斯の如く説明的に用ひられた名詞を同格の名詞と呼ぶ、又説明される名詞を重ねる名詞 (Principal Noun) と云ふ、この二つの名詞は常に同格に置かれる。

即ち第一の場合では Doppo が主格であるから Novelist の格も主格である、第二の場合では「獨歩の生涯」と云ふのであるから novelist は所有格の形 novelist's となるのである、この場合 Doppo は Doppo's とするに及ばぬ、その理由は life の前にある名詞 novelist's が所有格の形になつてゐるからであ

る、第三の場合では Doppo も novelist も目的格になつてゐる。

4. 名詞を副詞として用ひる場合。——名詞を副詞として用ひる場合がある。

{I stayed there five days.
私は五日そこに滞在した。

{We walked two ri.
我々は二里歩いた。

{I am three years older than he.
私は彼より三つ年上である。

斯の如く名詞が時日、距離を示して副詞の働をなすことがある、これは英語で **Objective Adverbial** (副詞狀目的格) と呼ばれてゐる。

5. 所有格の作り方。——所有格を作るには Apostrophe s ('s) を名詞に附するを通則とする。

man's, men's, child's, boy's.

6. 然し s にて終る複数名詞には單に (') のみを附するのである。

Boys' books; teachers' rooms.

7. 所有格は普通人及び動物に限られる、無性物には of が用ひられる。

Saito's book, the king's carriage.

誤 正

The table's legs. The legs of the table.
The leaf's colour. The colour of the leaf.

8. 然し時日、距離、價等を示す名詞は所有格として用ひられることがある。

Today's paper; a week's jourrey; an hour's walk, ten sen's worth.

8. A friend of my father's の如く所有格の前に of を置くことがある、これは one of my father's friends に同じである、即ち我が父には多くの友人があるがその一人と云ふ意味である。

{He is a friend of my father's.
{彼は私の父の一友人である。

10. 所有格の後には house, shop 等の語が省かれる場合が多い。

{I went to my aunt's yesterday.
{私は昨日伯母の家へ行つた。

{I bought the book at Maruzen's.
{私は丸善で本を買つた。

練習 四

(a) 次の名詞の格を云へ。

1. I have made that man my servant.

私はあの男を私の下男にしました。

(Man は動詞 made の目的格、servant は man の目的格補足語)

2. My brother has gone to Kyoto with a friend of his.

私の兄弟は友達と京都へ行つた。

(brother は主格、Kyoto は前置詞 to の目的格、friend は with の目的格)

3. That girl's father has come.

あの女の子の父が来た。

(girl's は所有格、father は主格)

4. Have you ever read any of Kōyō the novelist's works?

君は小説家紅葉の作を何か讀んだか。

(Kōyō は novelist と同様に所有格になつてゐると見てよろし、works は前置詞 of の目的格)

5. He is thought a clever boy.

彼は利口な男の子と思はれてゐる。

(boy は主格と同一の格に置かれてゐる即ち主格補足語である)

6. I have walked three miles.

私は三哩歩いた。

(miles は Objective Adverbial である)

(b) 次の文に誤あらば正せ。

1. This house's roof is broken.
此の家の屋根は破れてゐる。
2. A lion's roar is terrible.
獅子の唸聲は恐ろしい。
3. I met him at my aunt.
私は伯母の所で彼に會つた。
4. Have you to-day's Jiji?
君は今日の「時事」を有つてゐますか。
5. These are men's hats.
これ等は男の帽子です。
6. This sword's handle is of wood.
此の刀の柄は木で出来てゐる。

(b) の 答

1. **The roof of this house is broken.**
2. 誤なし。
3. **I met him at my aunt's.**
4. 誤なし。
5. 誤なし。
6. **The handle of this sword is of wood.**

第二章 代名詞 (Pronoun)

1. 代名詞の種類

1. 代名詞に五種ある。

- (1) **I think he will see you soon.**
私は彼がすぐ君にあふと思ひます。
- (2) **Mine is older than yours.**
私のは君のより古い。
- (3) **This is better than that.**
これはあれよりも良い。
- (4) **He is the man that came yesterday.**
彼は昨日来た人です。
- (5) **Who and what is he?**
彼は誰で又何です。

(1) の如く人稱を示す代名詞を人稱代名詞 (Personal Pronoun) と云ふ。

(2) の如く所有物を代表する代名詞を所有代名詞 (Possessive Pronoun) と云ふ。

(3) に於ける this, that は形容詞として用ひられる場合が多い、斯の如きを形容代名詞 (Adjective Pronoun) と云ふ。

(4) That は man を代表する代名詞たると同時に He is the man と yesterday とを結ぶ接續詞なるを以て關係代名詞 (Relative Pronoun) と云ふ。

(5) who と what は疑問代名詞 (Interrogative Pronoun) と云ふ。

2. 人稱代名詞 (Personal Pronoun)

1. 文法上人稱を示す代名詞を人稱代名詞 (Personal Pronoun) と云ふ、他の代名詞にも人稱が無い譯ではないが完全に三つの人稱を有する故斯く名づけたのである。

2. 人稱代名詞の變化。

第一人稱單數		
主格	所有格	目的格
I	my	me

第一人稱複數		
主格	所有格	目的格
we	our	us

第二人稱單數複數		
主格	所有格	目的格
you	your	you

[注意] 第二人稱は單數も複數もその形同一である、又主格と目的格とその形同一である。

第三人稱單數			
	主格	所有格	目的格
男性	he	his	him
女性	she	her	her
中性	it	its	it

第三人稱複數		
主格	所有格	目的格
they	their	them

3. It の用法。——人稱代名詞中 it はその用法が甚だ多い。

(a) 天氣、時、距離等の名詞を特に名指さずに it を以て代用することが普通である。

{ It is fine weather to-day.

{ 今日は好天氣だ。

{ It is six o'clock.

{ 六時です。

{ It is five miles to that town.

{ あの町まで五哩です。

(b) 後に來る句又は節を前以て表はす場合に用ひられる。

{He has gone abroad, and it is widely known.
 {彼は洋行した、それは度々知られてゐる。

4. **They の用法。**——特に誰と指定すること無く一般の人と云ふ意味で they を用ひる場合が少くない。

{They say that he is dead.
 {彼が死んだと云ふ話です。

[注意] この場合の they は people にその意味同じである。

5. **結合人稱代名詞 (Compound Personal Pronoun)**
 人稱代名詞の所有格又は目的格に self を加へたものを結合人稱代名詞と云ふ。

	單 數		
myself,	yourself,	himself	
herself,	itself.		

	複 數		
ourselves,	yourselves,	themselves.	

[注意] himself, herself, itself の復数は themselves である。

6. **結合人稱代名詞**は重に目的格として用ひられる又副詞の如く用ひられる。

目的格

{He drowned **himself**.
 {彼は水死した。

{I rely on **myself**.
 {私は私自身に依頼する。

副詞的

{He and it **himself**.
 {彼は自分でそれをした。

{I **myself** rely on it.
 {私は自分でそれに依頼する。

7. **結合代名詞**には所有格がない故 own を普通の所有格に加へて之を作る。

{Wait in **your own** room.
 {君自身の家で待て。

{He is ashamed of **his own** conduct.
 {彼は彼自身の行を恥ぢてゐる。

練習五

(a) **人稱代名詞**の人稱、數、格及び性を云へ。

1. We went to his father's.

我々は彼の父の家へ行つた。

(We は第一人稱、複數、主格で通性; his は第三人稱、單數、所有格で男性)

2. You must do it yourself.
君は自分でそれをしてしなければならぬ。
(You は第二人称、単数、主格で通性; yourself は第二人称で単数、通性で副詞的代名詞)
3. She did not know of it.
彼めはそれを知らなかつた。
(She は第三人称、単数、主格で女性; it は第三人称、単数、目的格で中性)
4. When they heard me speak, they were alarmed.
彼等は私の云ふのを聞いて驚ろいた。
(They は第三人称、複数、主格で通性; me は第三人称、単数、主格で通性)
5. He is good at mathematics.
彼は数学が得意である。
(He は第一人称、単数、主格で男性)

(b) 適當なる人称代名詞を用ひて次の文章を英譯せよ。

1. 私は彼等を知らぬ。
I do not know them.
2. 彼は氣狂になつて自分の家を焼いた。
He became mad, and burned his own house.
3. 我々は彼の家へ行つて彼の親類に會つた。
We went to his house, and met with a relative of h's.

4. 君は自分でさう云つた。
You yourself said so.
5. 彼は遂に自殺した。
At last he killed himself.
6. そんな事をしては悪い。
It is wrong to do such a thing.

3. 所有代名詞 (Possessive Pronoun)

1. 所有代名詞は所有されたる物の代りとなる代名詞を云ふ。

mine, ours, yours, his, hers, theirs.

2. 人称と數。—— 所有代名詞は常に第三人称にして單數にも複數にも用ひられる。

{ Yours is better than mine.

{ 君のは私のより良い。

{ My mother is younger than his.

{ 私の母は彼のより若い。

3. 所有代名詞は所有格を缺いてゐる、この點は人称代名詞と異つた所でも、人称代名詞の所有格は所有者を表はして常に名詞の前に置かれ、所有代名詞は所有物を示して必ず獨立して文章中に置かれる。

4. 所有代名詞の前に置かれる of

{A friend of mine came to see me.
{私の友人が私にあひに來た。

[注意] my friend といふと定つた友人を指して云ふのである、然るに a friend of mine と云へば「或る私の友人」と云ふ意味で少し意味の相違が起る、注意すべし。

練習六

(a) 誤を正せ。

1. He is taller than me.
彼は私より丈が高い。
2. Yours book is interesting.
君の本は面白い。
3. My watch is dearer than he.
私に時計は彼のより高價である。
4. Her is better than me.
彼女のは私のより良い。

(b) 適當なる所有代名詞を用ひて次の文章を英譯せよ。

1. 私は帽子を失くした、君のは何所にあるか。
2. 君の友達に今逢つた。
3. 私のは盗まれた。
4. 私の小刀は切れまいが、君のはよく切れる。
5. 私のは君のより悪い。

(a) の 答

1. He is taller than I.
2. Your book is interesting.
3. My watch is dearer than his.
4. Hers is better than mine.

(b) の 答

1. I have lost my hat. Where is yours?
2. I met a friend of yours now.
3. Mine has been stolen.
4. My knife does not cut, but yours cuts well.
5. Mine is worse than yours.

4. 形容代名詞 (Adjective Pronoun)

1. 形容代名詞は形容詞の性質を或る意味に於て有する代名詞である。

形容代名詞

{This is better than that.
{これはあれより良い。
{Each went his way home.
{各自歸途についた。

形容詞

{This knife is better than that knife.
{この小刀はあの小刀より良い。

{Each boy has his own book.
小供は各自に本を持つてゐる。

2. 形容代名詞の重なるものは this, these, that, those, such, both, each, either, neither, one, none, other, another, any, some 等である、此内 each, either, neither, another は常に單數、both は常に複數、その他はいづれにも用ひられる。

3. This と that の用法。

{This is not so good as that.
これはあれほど良くない。

{The light of the sun is brighter than that of the moon.
太陽の光は月のそれより明るい。

{He is always doing this thing or that.
彼はいつもあれやこれやをしてゐる。

4. One と none の用法。

{One should obey one's parents.
人は両親に従ふべきものだ。

{Show me a better one.
もつと良いのを見せて下さい。

{Show me some cheaper ones.
もつと安いのを見せてくれ。

{None of them are there.
彼等は誰もそこにゐない。

{None of those pens is good.
このペンはどれもよくない。

5. Either と neither の用法。

{Either will do.
いづれでも宜しい。

{Neither of them will come.
いづれも來ないでせう。

6. Another と other の用法。

{Give me another.
何か別のを下さい。

{Give me the other.
も一つのを下さい。

7. Each other と one another の用法。——Each other は二人又は二物に用ひられ、one another は三人又は三物以上に用ひるのが通則である。

{The two friends helped each other.
二人の友人は互に助け合つた。

{We helped one another.
我々は互に助け合つた。

8. Any と some の用法。——Any は普通疑問文、否定文に用ひ、some は肯定文に用ひられる。

{Are there any who like to go there?
そこへ行きたい人は誰かゐるか。

{ Yes, there are **some**.
{ はい、をります。

{ No, there are **not any** (=none).
{ いいえ、誰もありません。

Any は又 if を以て始まる文章にも用ひられる。

{ If you have **any** book, lend it to me.
{ 何か本を持つておみてなら貸して下さい。

練習七

(a) 形容代名詞を用ひて次の文章を英譯せよ。

1. 彼は私の眼鏡をこんなにこわした。
2. 二人とも行きました。
3. あの人はいつもこれをしたたり、あれをしたたりしてゐる。
4. 我々は互に尊敬しなければなりません。
5. 人は自國を愛さねばなりません。
6. 誰もこんな六つかしい事は出来ない。

(b) 次の文章中の誤を正せ。

1. I have not none.
私は何ももたない。
2. Is there any who can do it?
Yes, there is any.
これが出来る人がありますか。
はい、あります。

3. Neither of them did come.
二人共なかつた。
4. I saw another boys coming.
私はも一人の小供の來るのを見た。
5. One should obey the laws of his country.
人は自國の法律に従はねばならぬ。

(a) の 答

1. He broke my spectacles like this.
2. Both of them went.
3. That man is always doing this thing or that.
4. We must respect one another.
5. One should love one's own country.
6. None can do such a difficult thing as this.

(b) の 答

1. I have **none**.
2. Is there any who can do it?
Yes, there is **one**.
3. Neither of them **came**.
4. I saw another **boy** coming.
5. One should obey the laws of **one's** country.

5. 關係代名詞 (Relative Pronoun)

1. 關係代名詞は前に在る名詞又は代名詞を指す許りでなく尙ほ接續詞の働を兼ねる代名詞を云ふ。

{This is the watch that I bought.
{これが私の買った時計です。

2. 関係代名詞の先行詞 (Antecedent).—名詞又は代名詞にして関係代名詞の代表するものを云ふ、上記の例の watch は即ち先行詞である。

3. 関係代名詞の変化。

主格	who	which	that	what
所有格	whose	when (of which)	—	—
目的格	whom	which	that	what

4. Who は人にのみ用ひ、which は人以外の動物無生物にのみ用ひ that は人、動物、無生物いづれにも用ひて制限的の意味を有してゐる。

{A woman whose husband is dead is called a widow.
{夫の死んだ女を寡婦といふ。

{This must be the fox which stole the eggs.
{これが卵を盗んだ狐に違ひない。

{The book which you have given me is on the table.
{君のくれた本は卓上にある。

{This is the prettiest flower that I ever saw.
{これは私の見た最も美しい花です。

5. What はその用法 that which 又は those which に等しい。

{Do not do what is wrong.
{不正な事をするな。

この場合 what は that which に等しい。

練習 八

(a) 次の文章中の関係代名詞及びその先行詞を指摘せよ。

1. I saw a man in the street who seemed nearly starved.

私は殆ど餓死しそうな男を通りで見た。
(who は関係代名詞、その先行詞は man)

2. There is a tall tree in the garden, the top of which was broken in the late wind.

庭に高い木がある、その頂上は近頃の風で折れた。
(which は関係代名詞、その先行詞は tree)

3. I saw some small birds in the forest which were singing sweetly.

(which は関係代名詞、その先行詞は birds)
私は森で美しく鳴いてゐる或る小さい鳥を見た。

4. Is not that gentleman who is standing at the gate your father?

門の所に立つてゐるあの紳士は君の父上ではないか。

(who は關係代名詞、gentleman はその先行詞)

5. He speaks nothing but what is true.
彼は眞の外何事をも語らず。

(what は關係代名詞と先行詞とを兼ねたるもの)

(a) 關係代名詞を用ひて次の文章を英譯せよ。

1. 彼は私の知つてゐる最も博學の人です。
2. 兩親の死んだ子を孤兒と云ひます。
3. 鎖のこわれた時計は何所ですか。
4. 君の見た船はどれですか。
5. これは私が昨日御話した家です。

(b) の 答

1. He is the most learned man **that** I know.
2. A child **whose** parents are dead is called an orphan.
3. Where is the watch, the chain of **which** is broken?
4. Which is the ship **that** you saw?
5. This is the house of **which** I spoke yesterday.

6. 疑問代名詞 (Interrogative Pronoun)

1. 疑問代名詞は疑問を起す代名詞である、その變化は次の如し。

主格	who	what?	which?
所有格	whose	—	—
目的格	whom	what?	which?

2. Who is he? 及び what is he? — 前者は姓名又は血統を尋ね、後者は身分、職業を問ふのである。

Who is he? (彼は誰か)
 He is my brother. (私の兄弟です)
 What is he? (彼は何です)
 He is a teacher. (教師です)

3. What is it like? は What sort of a thing is it? にその意味同じである。

{ You say you have lost your purse. What was it like?
 君は財布を失くしたと云ふが、どんなのでした。

4. 所有代名詞の如く用ひられた whose.

{ Whose is this cane?
 この杖は誰のですか。
 { I don't know whose it is.
 誰のだか私は知らない。

5. 接續詞的に用ひられた疑問代名詞。——この場合には先行詞はない。

接續詞的疑問詞

{I don't know **who** he is.
{彼が誰だか私は知らぬ。

{I do not understand **whom** you mean.
{君が誰のことを云ふのだから私には分らない。

關係代名詞

{The man **who** came yesterday was Kato.
{昨日来た男は加藤でした。

{They are the men **whom** I have just met.
{彼等は私が今會つた人達です。

練習九

(a) 誤を正せ。

1. Whom was he which came just now?
今来たのは誰でしたか。
2. Who are you going to give it?
誰にそれをやろうとしてゐますか。
3. Tell me what is better?
どちらがよいか云ひなさい。
4. Who do you think me to be?
君は私を誰と思ひますか。

(b) 疑問代名詞を用ひて次の文章を英譯せよ。

1. 君はあの人を何だと思ふか。

2. 私はあの人だ誰だか知らない。
3. 狐はどんなものか。
4. どんなものだと云ふのは六つかしい。

(a) の 答

1. **Who** was he **that** came just now?
2. **Whom** are you going to give it?
3. Tell me **which** is better.
4. **Whom** do you think me to be?

(b) の 答

1. What do you think **that** man is?
2. I don't know **who** he is.
3. What is the fox like?
4. It is difficult to tell what it is like.

第三章 形容詞 (Adjective)

1. 形容詞の種類

1. 形容詞に三種あり。
 - (1) {Give me **this** book rather than **that** book.
{あの本より寧ろこの本を私に下さい。
 - (2) {There is **much** ink and are **many** pens.
{澤山のインキと澤山のペンがある。

(3) {There are some pretty flowers in the garden.
{庭に美しい花が咲きます。

(1) の形容詞は代名詞の性質を帯びてゐるので代名形容詞といふ。

(2) の形容詞は數量を示す故數量形容詞と云ふ。

(3) の形容詞は物の性質状態を表はす故修飾形容詞と云ふ。

2. 代名形容詞 (Pronominal Adjective)

1. 代名形容詞は代名詞の性質を帯びた形容詞を云ふ、その重なるものは下の如し。

This, these, that, those, both, some, such, each, every, either, neither, one, another, any, same, all, what, which.

2. Same の用法。——前には常に the を附す。

{This is the same book.
{これは同じ本です。

3. Both と all の用法。——この二つの形容詞は常に the の前に置かれる。

{All the boys were delighted.
{凡ての小供等は悦んだ。

{Both the men were killed.
{二人共殺された。

4. Such の用法。——such が冠詞の a 又は an と共に用ひられる時は必ず其前に置かれる。

{I never saw such a thing.
{私はこのやうな物を決して見た事がなかつた。

5. Other の用法。

{I met with him the other day.
{私は此間彼にあつた。

{I go there every other day.
{私は隔日に其所へ行く。

6. Some と any の用法。——One, body, thing, time 等と合して一語として用ひられる。

{Somebody must know it.
{誰かそれを知つてゐるに違ひない。

{Is there anyone who can do it?
{誰かその出来る人がゐるか。

{I have something to do.
{私はする事がある。

{Anything will do.
{何でもよろしい。

7. Some one, any one, who の意味の區別。——次の例に依つてその差を知れ。

{Did any one come here?
{誰か此所へ來ましたか。

{ Who came here?

{ 誰が此所へ來ましたか。

{ Any one can do it.

{ 誰でもそれは出来る。

{ Some one came here.

{ 誰か此所へ來ました。

8. What と which. — 疑問代名詞より轉じたもの。

{ What book have you bought?

{ 君はどんな本を買ひましたか。

{ Which book will you choose?

{ どの本を君は撰ぶか。

What は感歎文にも用ひられる。

{ What a beautiful sunset it is!

{ 何と云ふ美しい日の入りでせう。

練習十

(a) 代名詞形容詞を用ひて次の文章を英譯せよ。

1. 私は先日横濱へ行つた。
2. 何でもよろしい。
3. 誰か來ました。
4. 誰かこれをこわしたか。
5. 私は一週間置きに東京に行きます。
6. この五年間私は佛蘭西語を學んでゐます。

(b) 次の誤を正せ。

1. What is those book?
あの本は何ですか。
2. The all students are diligent.
凡ての學生は勉強してゐる。
3. A such sight has never been met with.
この様の有様には決して出合はなかつた。
4. Anybody must have done it.
誰かこれをしたに違ひない。
5. The both friends are on good terms.
二人の友人は仲が良い。

(a) の 答

1. I went to Yokohama the other day.
2. Anything will do.
3. Some one has come.
4. Who broke it?
5. I go to Tokyo every other week.
6. I have learned French these five years.

(b) の 答

1. What is that book?
2. All the students are diligent.
3. such a sight has never been met with.
4. Somebody must have done it.
5. Both the friends are on good terms.

3. 数量形容詞 (Quantitative Adjective)

1. 数量形容詞は数又は量を表はす形容詞を云ふ。
2. 量を表はすものは単数名詞に用ひられる。

much sugar, little wine, sufficient courage.

3. 数を示すもの。

- (1) 不定の数を示すものは複数名詞と共に用ひられる。

Many books, few rivers.

(2) 定つた数を示すもの。

- (a) 基数 (Cardinal) は one を除く外複数と共に用ひられる。

- (b) 序数 (Ordinal) は単数名詞と共に用ひられる。

The third class, the tenth day.

- (c) 倍数 (Multiplicative) は単数複数いづれにも用ひられる。

Half the wine, half the men, double the price, double the men.

4. A little と little の用法。— A little は「少しはある」の意、little は「殆どない」の意味である、次の例を見て用法を知れ。

{I have little money.

{私は金は殆どない。

{There is a little money left.

{金は少しは残つてゐる。

5. A few と few の用法。— この二者は複数の名詞と共に常に用ひられる、複数の意味を有してゐるからである。

{A few people know it.

{それを知つてゐる人は少しはある。

{Few people know it.

{それを知つてゐる人は少ない。

6. 数字の読み方。

- (1) Hundred の次には and を加へ、若し hundred がまければ thousand の次に and を入れて讀むべし。

527 = five hundred and twenty-seven.

1.032 = one thousand and thirty-two.

- (2) 分数の読み方。

$\frac{1}{2}$ = one half, $\frac{3}{4}$ = three fourths.

$5\frac{2}{5}$ = five and two fifths.

- (3) 小数の読み方。

1.025 = one point nought two four.

2.005 = two point nought nought five.

- (4) George I; Edward III に George the First Edward the Third の如く the を入れて讀むのである。

習習 + -

(a) 誤を正せ。

1. I have drunk many wine.
私は澤山酒を飲んだ。
2. There is few water.
水がすくない。
3. He has saved the half expense.
彼は費用の半分を貯蓄した。
4. Much boys are playing in the field.
多くの男の子が野で遊んでゐる。
5. They showed him many respect.
彼等は彼に多くの尊敬を示した。

(b) 次の文章を英譯せよ。

1. それは十日目でした。
2. 私は普通の仕事の三倍をしました。
3. 二三日たてば出来ます。
4. 一年には三百六十五日あります。
5. 僅かな學問は危険なものです。

(a) の 答

1. I have drunk **much** mine.
2. There is **little** water.
3. He has saved **half the** expense.
4. **Many** boys are playing in the field.
5. They showed him **much** respect.

(b) の 答

1. It was the tenth day.
2. I did three times the usual work.
3. It will be ready in a few days.
4. A year has three hundred and sixty-five days.
5. Little learning is a dangerous thing.

4. 修飾形容詞 (Qualifying Adjective)

1. 修飾形容詞は物の性質又は状態を示す形容詞を云ふ。

{He felt sorry for the poor animal.
{彼は哀れな動物を可愛そうだと感じた。

2. 固有形容詞 (Proper Adjective). — 固有名詞より轉化したるもの。

The English language, Japanese literature.

3. 物質形容詞 (Material Adjective). — 物質名詞より轉化したるもの。

An iron bridge, a gold watch, a stone building.

4. 動詞形状容詞 (Verbal Adjective).—動詞より轉化したるもの。

A dying man, amusing story, rising sun, rolling stone, wounded soldier.

練習 十二

(a) 次の修飾形容詞を指摘せよ。

1. Although he is weak, he seldom becomes ill.
彼は弱いか病氣になるのは稀だ。
(Weak, ill は修飾形容詞)
2. The white bear is covered with long, thick, white fur.
白熊は長い、濃い、白い毛皮で覆はれてゐる。
(white, long, thick は修飾形容詞)
3. The setting sun and the rising moon were greeting each other.
没せんとする太陽と上らんとする月は互に挨拶してゐた。
(setting, rising は共に修飾形容詞)
4. The Italian language is said to be the most

beautiful of all the European tongues.

伊太利語は歐洲の國語中最も美しくいと云はれてゐる。

(Italian, beautiful, European は共に修飾形容詞)

5. After crossing a stone bridge we came to a lofty brick building with a great iron gate.

石橋を渡つてから我々は大きい鐵の門のある高い煉瓦の建物の所へ來た。

(stone, lofty, brick, great, iron は皆修飾形容詞)

(b) 前置詞を除いて次の固有名詞を固有形容詞に代へよ。

1. Railways of Siberia.
2. Literature of China.
3. History of Germany.
4. Language of Japan.
5. People of France.

答

1. Siberian railway.
2. Chinese literature.
3. German history.
4. Japanese language.
5. French people.

5. 比較 (Comparison)

1. 一綴の語全部と二綴の語の或る部分は本來の形に er, est を附して比較級及び最上級を作る。

原級	比較級	最上級
long	longer	longest
short	shorter	shortest
narrow	narrower	narrowest.

[注意 I.] 發音せざる e で終る語は單に r, st を加へる。

原級	比較級	最上級
large	larger	largest
wise	wiser	wisest
fine	finer	finest
polite	politer	politest

[注意 II.] 單子音で終りその前に短母音ある語はその子音を重ねる。

原級	比較級	最上級
hot	hotter	hottest
big	bigger	biggest
fat	fatter	fattest
thin	thinner	thinnest

[注意 III.] y で終りその前に子音のある語は y を i に變じ er, est を加へる。

原級	比較級	最上級
happy	happier	happiest
heavy	heavier	heaviest
easy	easier	easiest

2. 二綴の語の大半と三綴以上の語には前に more, most を加へる。

原級	比較級	最上級
skilful	more skilful	most skilful
famous	more famous	most famous
difficult	more difficult	most difficult
diligent	more diligent	most diligent

3. 不規則に變化するもの。

原級	比較級	最上級
good	better	best
well		
bad		
ill	worse	worst
many		
much	more	most
little		
old	{older {elder	{oldest {eldest

4. 他より劣れることを示す比較がある、この場合には less, least を前に附するのである。

{This book is less interesting than that.
{この本はあれより面白味が少ない。

{This is the least interesting of all the books.
{これは皆の内でも面白味の少ない本である。

練習十三

(a) 次の形容詞の比較級と最上級とを云へ。

- 1. merry. 2. thin. 3. good.
- 4. bad. 5. ill. 6. many.
- 7. little. 8. beautiful.

(b) 誤を正せ。

- 1. He is my older brother.
彼は私の兄です。
- 2. He is elder than I.
彼は私より年上です。
- 3. That tree is taller of all.
あの木が一番高い。
- 4. He is the most worst man.
彼は最も悪い人です。
- 5. I am tall than you.
私は君より丈が高い。

(a) の 答

- 1. Merrier, merriest. 2. thinner, thinnest. 3. better, best. 4. worse, worst. 5. 同前。 6. more, most. 7. less, least. 8. more beautiful, most beautiful.

(b) の 答

- 1. He is my elder brother.
- 2. He is older than I.
- 3. That tree is the tallest of all.
- 4. He is the worst man.
- 5. I am taller than you.

第四章 冠詞 (Article)

1. 冠詞の種類

1. 冠詞に二種あり。

{There was a tree here.
{此所に木があつた。

{The tree had died.
{その木は枯れた。

上記の a 及び the を冠詞と云ふ、a は不定の物を指す故不定冠詞 (Indefinite Article) と呼び、the は定めた物を指す故定冠詞 (Definite Article) と云ふ。

2. 不定冠詞 (Indefinite Article)

1. **A** と **an**.—**A** は子音の前に用ひられ **an** は母音の前に用ひられる、然し子音の響を有する母音の前には **a** が用ひられる。

A useful metal, such a one.

2. 単数名詞の前に不定冠詞を置けばその名詞は不定の物を表はす。

I have seen **an** elephant.

私は象を見た事がある。

3. **A** の特別用法。

(I) **A certain** (或る) の意味に用ひる。

{ There once lived **a** man at **a** small village.
{ 或る小さい村に一人の男が住んでゐた。

(II) **One** (一つ) の意味に用ひられる。

{ I have **a** pound or two.
{ 私は一ポンドか二ポンドを持つてゐる。

{ Don't try to do two things at **a** time.
{ 一度に二つの事をやらうとするな。

(III) **Per** の意味に用ひられる。

{ I write home twice **a** month.
{ 私は月に二度家へ手紙を出す。

{ I wrote it at the rate of five pages **a** day.
{ 私はこれを一日五頁の割合で書いた。

4. 不定冠詞の使用は単数の普通名詞及び集合名詞に限られてゐる。

A book, an eye, an army, a nation.

[例外] **great many**, **good many**, **few**, **hundred**, **thousand**, **dozen** 等には前に置かれる。

A great many trees, **a good many** soldiers, **a few** days, **a dozen** bottles of beer; **a hundred** dollars; **a thousand** pounds.

5. 不定冠詞の位置。—単数普通名詞と共に **such**, **as**, **what** 又は **how** が用ひられる時は不定冠詞の位置は次の如くなる。

{ I never saw **such a** fine picture.
{ 私はこんな立派な絵をみた事がない。

{ I never saw **so fine a** picture.
{ 私はこんな立派な絵は見た事がない。

{ **What a fine a** picture it is!
{ なんと美しい絵でせう。

{ **How fine a** picture it is!
{ なんと美しい絵でせう。

練習十四

必要なる所に不定冠詞を入れよ。

1. I have good book.
私は良い本を持つてゐる。
2. Iron is useful metal.
鐵は有用な金屬である。
3. I go there three times week.
私は一週に三度そこへ行く。
4. We shall get there in hour.
我等は一時間でそこへ達ませう。
5. Health is better than wealth.
健康は富に優る。

答

1. I have a good book.
2. Iron is a useful metal.
3. I go there three times a week.
4. We shall get there in an hour.
5. 不定冠詞を附する所なし。

3. 定冠詞 (Definite Article)

1. 名詞の前に定冠詞を置けばその名詞は定まつた物を指す。

{ I have a horse; **the** horse was given me by my uncle.

{ 私は一頭の馬を持つ、その馬は伯父からもらった。

{ Keep to **the** left.

{ 左側を通行せよ。

{ He is **the** kindest man in the village.

{ 彼は村中で一番の親切者である。

[注意] 最上級の形容詞の前には必ず定冠詞を附す。

sun, moon, earth の如き名詞には前に the を附す。

{ **The** sun shines more brightly than **the** moon.

{ 太陽は月より光が強い。

{ **The** earth moves round.

{ 地球は廻轉す。

2. 定冠詞の特別用法。

- (a) 單數普通名詞を以て同種類の物すべてを代表するときには the を附す。

{ **The** dog is a faithful animal. = Dog are faithful animals.

{ 犬は忠實なる動物である。

[例外]

{ **Man** is the lord of all beings.

{ 人は萬物の長なり。

{ **Woman** is weaker than **man**.

{ 女は男より弱い。

(b) 次のやうなる句には the を附す。

In **the** morning, in **the** evening, in **the** night, in **the** afternoon, in **the** daytime, in **the** dark.

3. **The** の省略。——次の如き場合には the を省略す。

(a) 人を呼びかける時。

{Can you show me the way, **boy**?
{小供よ、御前は道案内が出来るか。

(b) 一家一族の人を指す時。

{**Mother** wants you.
{お母さんが御前に用がある。

{**Aunt** is coming this way.
{伯母さんがこつちへ來ます。

(c) 次の如き句に。

At school, to school, at church, to church, to town, in town, at night, by night, by day, in bed, to bed, at table.

4. 固有名詞と共に用ひられる定冠詞。

(a) 公の建物の名。

The Mombusho; **the** Naval Department; **the** Imperial Theatre.

(b) 海、灣、川の名。

The Japan Sea; **the** Bay of Biscay; **the** Thames; **the** Sumida.

(c) 船の名。

The Siberia (しべりや丸); **the** Kasuga (春日丸)

(d) 書籍、雑誌、新聞の名。

The Genji Monogatari; **the** Taiheiki; **the** Japan Times; **the** Chūōkōron.

(e) 山脈の名。

The Himarayas; **the** Alps.

[注意] 單獨の山名には the を附せず。

Fuji is a beautiful mountain.

練習十五

必要なる所に定冠詞を入れよ。

1. I know boy's mother.
私は小供の母を知つてゐる。
2. What is house on hill?
小山の上の家は何ですか。
3. Sumida is a large river.
隅田川は大きな川です。

4. Have you ever read Hakkenden.
君は八犬傳を読んだ事があるか。
5. In morning I take a walk.
朝私は散歩する。

答

1. I know the boy's mother.
2. Where is the house on the hill?
3; The Sumida is a large river.
4. Have you ever read the Hakkenden?
5. In the morning I take a walk.

第五章 動詞 (Verb)

1. 動詞の種類

1. 他動詞 (Transitive Verb) は目的格を有する動詞を云ふ。

{I learn English.
{私は英語を學ぶ。

2. 自動詞 (Intransitive Verb) は目的格を有せざる動詞を云ふ。

{I am playing.
{私は遊んでゐます。

3. 同じ動詞が他動詞にも自動詞にも用ひられる事がある。

他動詞

{I read the Daily Mail.
{私はデーリーメールを読む。
{He has returned the money.
{彼は金を返した。

自動詞

{I read in the morning.
{私は午前中は讀書する。
{He has returned already.
{彼はもう歸つた。

4. 他動詞には二つの目的格を有するものがある。

{I gave the boy a book.
{私は小供に本をやつた。
{I told him a story.
{私は彼に話をして聞かせた。

上記の文は下の如く書き換へる事が出来る。

I gave a book to the boy.
I told a story to him.

此の二例に於いて him, the boy を間接目的格 (Indirect Object) と云ひ book, story を直接目的格 (Direct Object) 云ふ。

5. 完全動詞 (Complete Verb) と不完全動詞 (Incomplete Verb).— 補足語を要する動詞を不完全動詞と云ひ、補足語を要せざる動詞を完全動詞と云ふ。

完全自動詞

{ I go.
{ 私は行く。

{ He laughed.
{ 彼は笑つた。

不完全自動詞

{ It is fine.
{ それは美しい。

{ He became a teacher.
{ 彼は教師になつた。

完全他動詞

{ I saw it.
{ 私はそれを見た。

{ I keep a dog.
{ 私は犬を飼つておく。

不完全他動詞

{ I made him angry.
{ 私は彼を怒らせた。

{ I kept it secret.
{ 私はそれを秘密にしておいた。

練習十六

(a) 次の前置詞を除いて文章を書き換へよ。

1. I lent some money to him.
私は彼に金を貸した。
2. I will get a new hat for you.
私はお前に新しい帽子を買つてやらう。
3. He teaches English to me.
彼は私に英語を教へる。
4. I beg of you not to do so.
さうしないやうに貴君に御頼みします。
5. Don't ask such a question of me.
私にそんな質問をするな。

(b) 次の文章を英譯せよ。

1. 彼は金持になつた。
2. 我々の飲食するものは安くない。
3. 兄が私に良い本を買つてくれた。
4. 私にあの小説を貸して下さい。
5. あの紳士は私に佛蘭西語を教へる。

(a) の 答

1. I lent him some money.
2. I will get you a new hat.
3. He teaches me English.

4. I beg you not to do so.
5. Don't ask me such a question.

(b) の 答

1. He became rich.
2. The things which we eat and drink are not cheap.
3. My elder brother has got me a good book.
4. Send me that novel.
5. That gentleman teaches me French.

2. 人 稱 と 数 (Person and Number)

1. Be を除いた凡ての動詞は第三人稱單數現在に於いてのみ單數の形を示す。

I see He see
 You see They see

第三人稱單數現在

He sees It sees

2. Be の變化。

單 數

I am I was
 You are You were
 He is He was

複 數

We are We were
 You are You were
 They are They were

3. And で結び付けられた二つ又は三つ以上の主格には複數の動詞を要する。

{ A book and a newspaper are here.
 { 本と新聞とが此所にある。

練 習 十 七

誤を正せ。

1. He are my brother:
彼は私の兄弟である。
2. Where is my books?
私の本は何所にあるか。
3. He and I am friends.
彼と私とは友人である。
4. My parents has gone to Atami.
私の両親は熱海へ行つた。
5. You or I are to go.
君か私か行く筈です。

答

1. He **is** my brother.
2. Where **are** my books ?
3. He and I **are** friends.
4. My parents **have gone** to Atami.
5. You or I **am** to go.

3. 動詞の變化 (Conjugation)

1. 動詞の三要部 (Principal Parts).

不定法 (1)	原形 (2)	過去 (3)	過去分詞 (4)
To see	see	saw	seen
To walk	walk	walked	walked

(1) の如き動詞の形を**不定法** (Infinitive) と云ひ、
 (2) の如き形を**原形** (Root) と云ひ、(3) の形を**過去**
 (Past Tense) と云ひ、(4) の形を**過去分詞** (Past Participle) と云ふ、
 原形、過去及び過去分詞は動詞一切の變化の基となるので動詞の三要部と云はれる。

2. 三要部の用法。

(1) 原形 (Root).

- (a) 命令を示すに用ひられる。
Walk slowly. (静かに歩け)
- (b) 現在に用ひられる。

I **walk** slowly (私は静かに歩む)

(c) shall, will 又は do と共に未來又は疑問文の形を作る。

{ I shall **walk** slowly.
 { 私は静かに歩かう。

{ Do you **take** a walk in the morning?
 { 君は朝散歩しますか。

(d) Ing を加へて現在分詞 (Present Participle) を作つて進行法 (Progressive Form) の基となる。

{ I am **walking** slowly.
 { 私は静かに歩いてゐる。

(II) 過去 (Past Tense).—この形はこのまゝ過去として用ひられる。

(III) 過去分詞 (Past Participle).—完了時 (Perfect Tense) 又は被働態 (Passive Voice) の基となる。

3. 動詞を上記の如く變化させるのを動詞の變化 (Conjugation) と云ふ。

4. 正則の變化 (Regular Conjugation).—原形に ed を加へて過去及び過去分詞を作る動詞を規則動詞 (Regular Verb) と云ふ。

5. 變則の變化 (Irregular Conjugation).—過去

又は過去分詞を作るに ed を原形に附せず、他の方法に依つてすることがある、この種の動詞を不規則動詞 (Irregular Verb) と云ふ。

原形	過去	過去分詞
Know	knew	known
Take	took	taken
Speak	spoke	spoken
Tear	tore	torn
Eat	ate	eaten
See	saw	seen
Do	did	done
Come	came	come
Sit	sat	sat
Lie	lay	lain
Lay	laid	laid

尙ほ不規則動詞の全部は普通の辭書の終りに掲げあれば此所には唯その一部を示すのみである、委しくは辭書に就いて見よ。

練習十八

(a) 次の動詞の過去及び過去分詞を云へ。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. find. | 2. read. | 3. write. |
| 4. bring. | 5. fall. | 6. give. |

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 7. sleep. | 8. think. | 9. lend. |
|-----------|-----------|----------|

(b) 次の動詞の現在及び過去を云へ。

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| 1. spread. | 2. held. | 3. shot. |
| 4. run. | 5. swum. | 6. met. |
| 7. become. | 8. forgotten. | 9. taught. |

(a) の 答

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. Found, found. | 2. Read, read. |
| 3. Wrote, written. | 4. Brought, brought. |
| 5. Fell, fallen. | 6. Gave, given. |
| 7. Slept, slept. | 8. Thought, thought. |
| 9. Lent, lent. | |

(b) の 答

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. Spread, spread. | 2. Hold, held. |
| 3. Shoot, shot. | 4. Run, ran. |
| 5. Swim, swam. | 6. Meet, met. |
| 7. Become, became. | 8. Forget, forgot. |
| 9. Teach, taught. | |

3. 時 (Tense)

1. 完了時 (Perfect Tense).

(1) He has just arrived.

彼は今ついたばかりだ。

(2) He had arrived before I went out,
私の出る前に彼はついた。

(3) He will have arrived before I go.
彼は私が出る前につくだろう。

(1) の如く現在の働作の完了を示すものを現在完了 (Present Perfect Tense) と云ひ、(2) の如く過去の働作の完了を示すものを過去完了 (Past Perfect Tense) と云ひ、(3) の如く未來の働作の完了を示すものを未來完了 (Future Perfect Tense) と云ふ。

2. 進行法 (Progressive Form).—進行法は働作の進行を示す形である。

{He is reading.
{彼は讀書してゐる。

{He was reading.
{彼は讀書してゐた。

{He will be reading.
{彼は讀書してゐるだらう。

{He has been reading.
{彼は讀書してゐた。

{He had been reading.
{彼は讀書してゐた。

{He will have been reading.
{彼は讀書してゐたでせう。

3. 否定文及疑問文に於いては do を助動詞として用ひる。

否定文

現在 {He does not go.
{彼は行かぬ。

過去 {He did not go.
{彼は行かなかつた。

疑問文

現在 {Does he go?
{彼は行くか。

過去 {Did he go?
{彼は行つたか。

練習十九

(a) 次の動詞の現在完了を云へ。

- 1. take. 2. lie. 3. speak.
- 4. sing. 5. ride.

(b) 次の動詞の未來完了進行法を云へ。

- 1. tread. 2. stay. 3. drive.
- 4. bind. 5. put.

(a) の 答

- 1. Have taken. 2. Have lain.
- 3. Have spoken. 4. Have sung.
- 5. Have ridden.

(b) の答

1. Have been treading.
2. Have been staying.
3. Have been driving.
4. Have been binding.
5. Have been putting.

4. 時の用法 (Uses of the Tenses)

1. 現在は一般の真理又は習慣的働作を示す。

{The earth goes round the sun.
地球は太陽の周りを廻る。

{He goes to school every morning.
彼は毎朝学校へ行く。

2. 現在は現在の働作を示す。

{What do you see there?
君は其所に何を見るか。

3. 現在は又未来の働作を示す。

{If it rains to-morrow, I will stay at home.
若し明日雨が降れば私は宅に居ます。

4. 過去は過去に爲した事實を示す。

{I wrote a composition.
私は作文を書いた。

5. 未来は未来の働作を示す。

{I shall be able to go in the afternoon.
私は午後には行かれます。

6. Shall 及び will の用法。—— I shall, you will, he will は單なる未来を示す。

{I shall see him to-morrow.
明日私は彼に會ひませう。

{You will find it easy.
君はそれを容易だと思ふでせう。

{He will come soon.
彼はすぐ来るでせう。

7. I will は意思を示し、you shall, he shall は話す人の命令又は約束を示す。

{I will do it.
私はそれをするつもりです。

{You shall do it.
君にそれをやらせる。

{You shall have it.
君にそれを上げる。

8. Shall I? は相手の意思を尋ね shall you? は單なる未来を示し、will you? は相互の意思を尋ねるに用ひられる。

{Shall I do it?
私はそれをしませうか。

{Shall you go to Hakone next week?

{來週箱根に御出ですか。

{Will you do it?

{君はそれをするつもりか。

9. Will he? は相手に第三者 (he) の働作を尋ねるに用ひられる。

{Will he come next month?

{彼は來月來ませうか。

練習二十

(a) 次の文章を英譯せよ。

1. 私は手紙を書いてあります。
2. 私は月曜日から病氣です。
3. 彼は明朝來ませうか。
4. 私は母を見送りに停車場に行つて來ました。
5. 昨日夕飯前に學科を復習してしまつた。
6. 私はこの三年間英語を勉強しました。

(b) 誤を正せ。

1. It shall rain to-morrow.
2. I am going for a walk every day.
3. What time have you come here?
4. Where has he gone yesterday?
5. Perhaps he shall succeed.

(a) の答

1. I am writing a letter.
2. I have been ill since Monday.
3. Will he come to-morrow morning?
4. I have been to the station to see my mother off.
5. I have reviewed my lesson before supper yesterday.
6. I have studied English these three years.

(b) の答

1. It will rain to-morrow.
2. I go for a walk every day.
3. What time did you come here?
4. Where did he go yesterday?
5. Perhaps he will succeed.

5. 時の特別用法

(Special Uses of Tenses)

1. 事實に反對想像を示す場合。—— 現在の事實に反對の想像を示す場合には過去の複數動詞が用ひられる。

1. {If he were rich, what would he do?
{彼がもし金持であつたら、何をするだらう。
2. {If you did it, you would scolded.
{もしそれをすると御前はしかられる。

(1) の場合では he が金持でないのをあると想像

たのである、(2) の場合は you がそれをしないのであるが、したと想像したのである。

2. 上記の例で見る如く想像の結果を示す句に在る動詞も will でなくして would を用ひてあるのに注意すべし。

3. 過去の事實に反対なる想像を示す時には過去完了が用ひられる。

{ If I had finished it yesterday, I should have been able to hand it to him.

{ 昨日それを完了したら彼にそれを渡すことが出来たのに。

4. 上記の例で見る如く想像の結果を示す句にも shall have been と云はずして should have been といふに注意すべし。

練習二十一

(a) 次の文章を英譯せよ。

1. 水がなければ凡ての生物は死ぬでせう。
2. 昨日君が来なかつたら私はどうしようと思つた。
3. 彼が親切にしてくれなかつたら私は今は何うなつてゐたでせう。
4. 病氣でなければ私は行くのですが。

5. 電車に飛乗りをしなければ私はこんな怪我はしなかつたのに。

(b) 誤を正せ。

1. If he came yesterday, you ought to have said so to him.
2. If I had money, I will lead it to you.
3. If you have gone there, you will be greatly welcomed.
4. He will have succeeded, if he had studied harder.
5. If there is no light, what will become of the earth?

(a) の 答

1. If there were no water, all living things would die.
2. If you had not come yesterday, I thought what I should have done.
3. If he had not been kind to me, what would have become of me now?
4. If I were not ill, I would go.
5. If I had not jumped into the electric car, I should not have been wounded.

(b) の 答

1. If he had come yesterday, you ought to have said so to him.

2. If I had money, I **would** lend it to you.
3. If you **went** there, you **would** be greatly welcomed.
4. He **would** have succeeded if he had studied hardier.
5. If there **were** no light, what **would** become of the earth?

6. 態 (Voice)

1. 被働態の作り方。——Be の變化に過去分詞を加へて被働態を作る。

{ I am praised.
{ 私は褒められる。

{ I was praised.
{ 私は褒められた。

2. 同じ意味が他働態に依つても被働態に依つても表はすことが出来る。

他働 { He praises me.
{ 彼は私を褒めた。

被働 { I am praised by him.
{ 私は彼に褒められる。

他働 { He will praise me.
{ 彼は私を褒めるだらう。

被働 { I shall be praised by him.
{ 私は彼に褒められるだらう。

上記の例で見る如く他働態の目的格は被働態の主格となるに注意すべし。

練習 二十 二

(a) 他働態を被働態に變ぜよ。

1. We respect our teacher.

我々は我々の教師を尊敬する。

2. We see the stars at night.

我々は夜星を見る。

3. The boy caught a fish.

小供は魚を捕へた。

4. He bought a watch.

彼は時計を買つた。

5. I wrote a letter.

私は手紙を書いた。

6. I gave him a book.

私は彼に本を與へた。

(b) 被働態を他働態に變ぜよ。

1. The mountain can be seen from afar.

山は遠方から見える。

2. A child was run over by the train.

小供が汽車に轢かれた。

3. My purse was stolen.

私の財布は盗まれた。

4. By whom was it broken?

これは誰にこわされたか。

5. It must be done by you.
これを君にしてもらはねばならぬ。
6. The wagon is drawn by an ox.
車は牛に引かれる。

(a) の 答

1. Our teacher is respected by us.
2. The stars are seen at night.
(この場合 by us を附する要なし)
3. A fish was caught by him.
4. A watch was bought by him.
5. A letter was written by me.
6. A book was given him by me.
又は
He was given a book by me.

(b) の 答

1. We can see the mountain from afar.
2. The train ran over a child.
3. Somebody stole my purse.
4. Who broke it?
5. You must do it.
6. An ox draws the wagon.

7. 助 動 詞 (Auxiliary Verb.)

1. Shall 及び will は動詞の未來を示すに用ひられる。

2. Be は他動詞の被働態を作るに用ひられる。
 3. Have は動詞の完了時を作るに用ひられる。
 4. Do は次の二つの場合に用ひられる。
- (a) 過去及び現在の疑問又は否定を作るに用ひられる。

{Do you see the mountain?

{山が見えますか。

{No, I do not see it.

{いいえ、見えません。

{Did you see the mountain?

{山が見えましたか。

{No, I did not see it.

{いいえ、見えませんでした。

- (b) 動詞の意味を強めるために用ひられる。

{I do like that place.

{私はあの場所が好きです。

{He did go, to be sure.

{確かに彼は行った。

5. Can は能力、許可又は否定の推量を表はす。

能 力

{He can do it easily.

{彼は容易にそれが出来る。

許 可

{You can go there if you have done it.

{それが出来たら御前そこへ行つてよろしい。

否定の推量

{It can not be true.
{それは本當の筈がない。

6. May は有り得べきこと、許可、又は祈願を表はす。

有り得べきこと

{It may snow.
{雪が降るかも知れない。

許 可

{May I enter the room?
{私は室へ這入つてもいいか。

祈 願

{May he live happily!
{彼が幸福に暮すことを願ふ。

7. Must は必要、強制又は肯定の推量を表はす。

必 要

{You must do it.
{君はそれをしなければならぬ。

肯定の推量

{It must be true.
{それは本當に違ひない。

練習二十三

次の文章を英譯せよ。

1. 彼は今に来るに違ひない。
2. その評判は本當の筈はない。
3. 明日は天気かもしれない。
4. 君は數學が好きですか。
5. 好きですとも。
6. 私は午後に淺草へ行つてもよろしいか。
7. いけません、明日ならよろしい。

答

1. He must come to-day.
2. The report can not be true.
3. It may be fine weather to-morrow.
4. Do you like mathematics?
5. Yes, I do like it.
6. May I go to Asakusa in the afternoon?
7. No, you must not. You may go there to-morrow.

8. 不 定 法 (Infinitive)

1. 不定法は動詞の原形 (Root) に to を置いた形を云ふ。

to do	to have done.
to go	to have gone.

2. 不定法の用法。——不定法は名詞、形容詞又は副詞として用ひられる。

名 詞

{To steal is wrong.
{盗みは悪い。

{I like to do it.
{私はそれをするのが好きだ。

形 容 詞

{I have something to do.
{私はする事がある。

{I have some wine to drink.
{私は飲む酒を持つてゐる。

副 詞

{I have come here to study.
{私は勉強するため此所へ来た。

3. To の省略。——不定法の to は次の場合に省略される。

(1) Make, here, see, let 等の他働態の後に不定法の来る時。

{His mother made him go to school.
{彼の母は彼を強いて學校へやつた。

{Do you hear the bird sing?
{鳥の鳴いてゐるのが聞えるか。

[注意] 然し次の被働態の場合には to が存在するに注意すべし。

He was made to go to school.

The bird is heard to sing.

(2) 不定法が二個以上並び用ひられる時は第二以下の to は省略される。

{He likes to go there and see his friend.
{彼はそこへ行つて友人に會ふのが好きだ。

練 習 二 十 四

次の文章を英譯せよ。

1. 昨日櫻を見に向島へ行きました。
2. 何か讀む本がありますか。
3. こんな雨天に出かけるのは不可能だ。
4. さうするのは私は賛成です。
5. 彼に行かせてよろしい。

答

1. I went to Mukōjima to see the cherry-blossoms.
2. Have you any book to read?
3. It is impossible to go out in such rainy weather.
4. I consent to do so.
5. Let him go.

9. 分詞 (Participle)

1. 分詞は形容詞の性質を帯びた動詞である、故に動詞状形容詞 (Verbal Adjective) とも呼ばれる。

現在分詞	過去分詞	完了分詞
doing	done	have done
playing	played	having played

2. 形容詞の前に置かれた分詞。

Running river	(流れる川)
Crying child	(泣く子)
Noted person	(知名の人)

3. 補足語として用ひられた分詞。

主格補足語

{The book is interesting.
{本は面白い。

{I am much interested in this book.
{私は大いに此本に興味を感じた。

目的格補足語

{I had my overcoat stolen.
{私は外套を盗まれた。

{I think that play amusing.
{私はあの遊びを面白いと思ふ。

4. 分詞はまた次の如き二様の用法がある。

1. {Seeing a policeman come, he ran away.
{巡査の来るのを見て彼はにげた。
2. {The sun having set, we went home.
{太陽が没したので吾々は帰宅した。

練習二十五

次の文章を英譯せよ。

1. この靴を直して貰ひたい。
2. その知らせで彼は驚ろいた。
3. 雨が大層降るので海岸へ出られなかつた。
4. 一人の負傷した兵士が起き上つた。
5. ボールは轉がつて行つた。
6. 道が悪いので私は着物を汚した。

答

1. I want these boots mended.
2. He was surprised at the news.
3. The rain falling heavily, I could not go out to the seaside.
4. A wounded soldier rose up.
5. The ball went rolling.
6. The road being bad, I got my clothes soiled.

10. 動詞状名詞 (Gerund)

1. 動詞状名詞は語尾が ing で終つて常に名詞として用ひられる。

doing having done.
playing having played.

2. 動詞狀名詞の用法。——主格又は目的格として用ひられる。

主 格

{Doing so pleases him much.
{そうするのが大に彼に彼を悦ばせる。

目 的 格

{I like doing so.
{私はそうするのが好きだ。

3. 動詞狀名詞の前には所有格を置くことが出来る。

{I remember his having done so.
{私は彼がそうしたのを記憶する。

練 習 二 十 六

次の文章を英譯せよ。

1. 私は旅行が好きです。
2. 彼はさうするのを恐れてゐる。
3. 彼は何も云はずに立ち去つた。
4. 日光へ行かずに京都へ行かうぢやないか。
5. 君がさう云つたので皆悦んで居る。

答

1. I am found of travelling.
2. He is afraid of doing so.
3. He went off without saying any thing.
4. Let us go to Kyoto instead of going to Nikko.
5. All the people are glad of your having said so.

第 六 章 副 詞 (Adverb)

1. 副詞に三種ある。

第 一 種

{The train runs swiftly.
{汽車は速く走る。

第 二 種

{I do not know when he comes back.
{彼がいつ歸へるか私は知らぬ。

第 三 種

{Where did he go?
{彼は何所へ行つたか。

第一種の如く單に他の語を修飾するものを單純副詞 (Simple Adverb) と云ひ、第二種の如く他の語を修飾すると同時に文章の二部分を聯結するものを接

續副詞 (Conjunctive Adverb) と云ふ、第三種の如く疑問を起すものを疑問副詞 (Interrogative Adverb) と云ふ。

2. 副詞の比較。——單純副詞の中には比較を有するものもある。

(a) 正則の形。——綴が單一のものなれば er, est を加へ二綴以上なれば more, most を前に置く。

原級	比較級	最上級
fast	faster	fastest
soon	sooner	soonest
brightly	more brightly	most brightly

[例外] Early, earlier, earliest, often, oftener, oftmost.

(b) 變則の形。——この種は少數である。

Badly, worse, worst; far, farther, farthest.

much, little, well 等は形容詞の場合にその變化同じである。

3. 副詞は又他の副詞を形容することが往々ある。

{It shines too brightly.
{それは餘りに輝きすぎる。

{The dog runs very fast.
{犬は大變速く走る。

4. Little と a little の區別。——これは形容詞の時にその意味の差同様である。

{I am little tired.
{私は殆どつかれぬ。

{I am a little tired.
{私は少しはつかれた。

5. Scarcely, hardly, seldom は共に little の如くに打消しの意味を幾分か含んでゐる。

{He seldom goes out.
{彼は出かける事が稀だ。

{It can scarcely be done.
{それは殆ど出来ぬ。

6. Yes, 及び No の用法。——答が打消しなれば No を用ひ、答が肯定なれば Yes, を用ひる。

{Do you see the tree?

{Yes, I do.

{No, I do not.

{Don't you go?

{Yes, I do.

{No, I do not.

即ち問ひに打消しが有るなしに關せず答に打消し

無き時は Yes を用ひ、打消しを含む時は No を用ひるのである。

● 練習二十七

次の誤を正せ。

1. How a pretty flower it is!
何と綺麗な花だらう。
2. He returned soon than I expected.
彼は私の思つたより早く歸つた。
3. Have you not any money? Yes, I have none.
君は金があるか、はい、ありません。
4. The cat ran more faster than the rat.
猫は鼠より速く走つた。
5. He gets up more early than I.
彼は私より早く起きる。

答

1. How **pretty** a flower it is!
2. He returned **sooner** than I expected.
3. Have you not any money? **No**, I have none.
4. The cat ran **faster** than the rat.
5. He gets up **earlier** than I.

第七章 前置詞 (Preposition)

1. 前置詞は時として二個並べて用ひられることがある。

{The bird came **from toward** the sea.

{鳥が海の方から來た。

{He appeared **from behind** the door.

{彼は戸の後から現はれた。

2. 時を表はす at, on, in.—At は五時六時の如く時間を表はし、on は日を表はし、in は月又は年を表はす。

{I went **at five o'clock**.

{私は五時に行つた。

{We started **on the fifth day**.

{我々は五日に立つた。

{**In August** people go to the seaside.

{八月には人々は海岸へ行く。

{The war broke out **in that year**.

{戦争はその年に起つた。

3. 場所を表はす at, on, in.—At は狭い場所を示し、on は物の上を示し、in は何々の内又は広い場所を示す。

{I saw it **at Kamakura**.

{私はそれを鎌倉で見た。

{ A house stands **on** the hill.
{ 小山の上に家がある。

{ A great many people live **in** Tokyo.
{ 多くの人が東京に住む。

4. 時を表はす **in, within, by, after.**——次の例を比較せよ。

In (經てば)

{ I shall return **in** a few days.
{ 二三日經てば歸へります。

within (以内に)

{ I shall leave **within** a month.
{ 一月以内に出發します。

by (迄に)

{ It will be finished **by** to-morrow.
{ 明日迄にはそれは出來ます。

after (後)

{ He returned **after** a month.
{ 彼は一ヶ月後に歸つた。

5. **Between** と **among** の用法。——前者は二つ物の間を示し、後者は三つ以上の物の間を示す。

{ A sea lies **between** England and France.
{ 英國と佛國との間には海がある。

{ The deer hid **among** the trees.
{ 鹿は木に間に隠れた。

6. **For, during, through.**——次の例に依つてその意味を知れ。

for (間)

{ I shall stay here **for** a week.
{ 私は一週間此所に滞在します。

during (中)

{ He will stay here **during** my absence.
{ 彼は私の不在中此所に居ます。

Through (ちう)

{ He will stay **through** the year.
{ 彼は一年ちう居ます。

練習二十八

(a) 誤を正せ。

1. He has arrived to Japan.
彼は日本に到着した。
2. The war broke out on August, 1914.
戦争は一九一四年八月に始つた。
3. I shall finish my composition till five o'clock.
私は五時迄に作文を仕上げます。
4. The robbers divided the money in themselves.

強盗は金を分配した。

(b) 次の文章を英譯せよ。

1. 私は三年間東京に住みました。
2. 次の土曜日迄にこれを仕上げねばならぬ。
3. 川の向から彼は来た。
4. 北海道には多くの産物がある。

(a) の 答

1. He has arrived **in** Japan.
2. The war broke out **in** August, 1914.
3. I shall finish my composition **by** five o'clock.
4. The robbers divided the money **among** themselves.

(b) の 答

1. I have lived in Tokyo for three years.
2. I must finish this by Saturday next.
3. He came f. om beyond the river.
4. There are plenty of products in Hokkaido.

第八章 接續詞 (Conjunction)

1. 接續詞に二種あり。

第一種

{ You and I must go.
 { 君と僕と行かねばならぬ。

{ He is good, **but** not rich.
 { 彼は善人だが金持ではない。

第二種

{ I shall go **if** it is fine weather.
 { 若し天気なら行きます。

{ He passed the examination, **for** he had studied hard.
 { 彼は及第した、大いに勉強したから。

第一種の and, but は同等の語又句を接續する故同位接續詞 (Co-ordinate Conjunction) と呼ばれ、第二種の if 及び for は附屬的の句を主なる文章に接續する故附屬接續詞 (Subordinate Conjunction) と云ふ。

2. 同位接續詞の重なるものは次の如し。

and, or, but, so, yet, still 等。

3. 附屬接續詞の重なるものは次の如し。

If, for, because, as, although, till, since, before, after, lest, than, whether, unless 等。

4. 關联接續詞 (Correlative Conjunction).—同位接續詞又は附屬接續詞の何れを問はず一對的に用ひられるものを關联接續詞と云ふ。

Both.....and

{ Both he and I must go.
 { 彼と私と両方とも行かねばならぬ。

Either.....or

{You must take **either** this **or** that.
君はこれかあれかを取らねばならぬ。

Neither.....nor

{I can go **neither** here **nor** there.
私はそこへもこゝへも行かれぬ。

whether.....or

{I do not know **whether** he likes it **or** not.
私は彼がそれが好きかどうか知らぬ。

As.....as

{This is **as** cheap **as** that.
これはあれと同じに安い。

So.....as

{This is not **so** cheap **as** that.
これはあれ程安くない。

As well as

{He is clever **as well as** kind.
彼は親切と同様に利口でもある。

So.....that

{He is **so** clever **that** everybody praises him.
彼は利口だから誰にでも褒められる。

Such.....that

{He is **such** a clever man **that** everybody praises him.
彼は利口な男なので誰にでも褒められる。

練習二十九

(a) 次の文章を英譯せよ。

1. 急いで行かぬと汽車に乗り遅れます。
2. 彼は君ほど丈が高くない。
3. ペンでも鉛筆でもよろしい。
4. 彼が病氣かどうか私は知らぬ。
5. 君も僕も悪いのだ。
6. 彼は大層金持なので人に羨まれる。

(b) 誤を正せ。

1. I must do both this or that.
私はこれとあれと両方共やらねばならぬ。
2. I know neither this man or that woman.
私はこの男もあの女も知らぬ。
3. He is not as old as I.
彼は私程年をとつてゐない。
4. I don't know if he is poor and not.
私は彼が貧乏かどうか知らぬ。
5. He was as tired that he could not walk.
彼は歩けない程疲れてゐた。

(a) の 答

1. If you do not make haste, you will miss the train.
2. He is not so tall as you.

3. Either a pen or a pencil will do.
4. I do not know if he is ill or not.
5. Both you and I are wrong.
6. He became so rich that people envy him.

(b) の 答

1. I must do both this and that.
2. I know neither this man nor that woman.
3. He is not so old as I.
4. I don't know if he is poor or not.
5. He was so tired that he could not walk.

第九章 間投詞 (Interjection)

主なる間投詞は次の如し。

悦び	Hurrah!
悲み	Oh! Ah! Alas!
驚き	Oh! Oh my! Dear me!
笑ひ	Ha! ha! Aha!
輕蔑	Pooh! Poh!
別れ	Good-by! Adieu! Farewell!
呼かけ	Hullo!
賛成	Hear! hear!

練習三十

次の文章に適當なる間投詞を入れよ。

1. ——! I have succeeded.
2. ——! I must go off now.
3. ——! You are a mere dog.
4. ——! Where have you been all this while?
5. ——! a wasp has flown into the room.

答

1. Hurrah!
2. Good-by!
3. Pooh!
4. Hullo!
5. Dear me!

英文法試験問題と解答

専門学校検定試験

(大正二年)

1. Convert the following sentences from Direct to Indirect (次の文章を直接話法より間接話法に變ぜよ)。

He said to me, "I am glad to tell you that you are pardoned."

2. Change the Voice (動態を變ぜよ)。

He was taken care of by his friends.

3. Write down the Past and the Past Participle of the following verbs (次の動詞の過去と過去分詞とを書け)。

break, cast, tear, swim.

4. Fill the blanks with appropriate prepositions (空所を適當なる前置詞をもつて充たせ)。

Greatly—my surprise, he failed—his attempt.

解 答

1. He said to me that he was glad to tell me that I was pardoned.

2. His friends took care of him.

3. broke, broken; cast, cast; tore, torn; swam, swum.

4. Greatly ~~to~~ my surprise, he failed ~~in~~ his attempt.

(大正四年)

1. Explain the difference between the Object and the Complement, giving sentences as examples (例を擧げて目的格と補足語との差異を説明せよ)。

2. Change the Voice (動態を變ぜよ)。

a. We have not heard of him lately.

b. English is spoken in America.

3. Change into the Indirect Narration (間接話法に變ぜよ)。

He said to me, "Have you received my letter?"

4. Supply Prepositions (前置詞を充當せよ)。

a. I'll be back—Sunday (までに)

b. He stayed here—five o'clock (まで)

解 答

1. a. I see a student.

b. I am a student.

c. I think him a student.

aに於いて動詞 see は他動詞にして「見る」と云ふ働きを受ける物は student である、然るにbの場合に於いては主格 I と文章の終りに在る語 student とは同一物で且つ am と云ふ動詞は他動詞ではな

く自動詞である、又 c の場合に於いては終りの語 a student が無ければこの文章は完全な文章ではない、そして注意すべき點は him と student とが同一の人を指してゐることである、これを要するに他動詞の後に來る名詞又は代名詞は Object にして動詞 be, become, grow (自動詞の場合)等の後に來る名詞又は代名詞は Complement である; 又 c の場合に於ける student は Subject I の Complement ではなく Object him の Complement であるからこれを Objective Complement と云つてゐる、これに對して b の場合の student は Subject I の Complement であるから Subjective Complement と呼ばれてゐる。

2. a. He has not been heard of lately.
b. They speak English in America.
3. He asked me if I had received his letter.
4. a. I'll be back by Sunday.
b. He stayed here until five o'clock.

(大正五年)

1. Expand the following sentence into a Complex and a Compound one (次の文章を混文及び複文に伸ばせ)。

The problem is too difficult to be solved.

2. Change the following from Direct to Indirect (次のものを直接話法より間接話法に變ぜよ)。

Kimura said to me, "I shall not see you again."

3. Insert prepositions (前置詞を挿入せよ)。

He was much alarmed—what he had just heard,

and alluded—it as soon as he arrived—my house and alighted—his carriage.

解 答

1. The problem is so difficult that it can not be solved. (Complex)

The problem is very difficult and can not be solved. (Compound)

2. Kimura said to me that he should not see me again.

3. He was much alarmed at what he had just heard, and alluded to it as soon as he arrived at my house and alighted from his carriage.

(大正六年)

Correct the errors, if any (誤あらば正せ)。

1. I have visited the place a few years ago.
2. They will go in train.
3. Who are you looking for?
4. He went out after supper.

解 答

1. I **visited** the place a few years ago.

2. They will go **by** train.

3. **Whom** are you looking for?

4. He went out after supper.

(大正七年)

1. Rewrite each sentence changing the Voice of the Verb (動詞の態を變へて各文章を書き直せ)。

- a. He has made me a handsome present.
b. You must send for the doctor at once.

2. Change the following sentences from Direct into Indirect (次の文章を直接話法より間接話法に變ぜよ)。

- a. He said to me, "I shall never forget your kindness all the days of my life."
b. He asked me, "What have you been doing all this time?"

3. Correct the errors in the following sentences (次の文章に於ける誤を正せ)。

- a. Hitachi Maru was lost on Indian Ocean.
b. He is a most skilful aviator who Japan has ever had.
c. When I shall have finished this letter, I will be able to join you.
d. Having written the letter, it was posted.

解 答

1. (a) A handsome present was made to me by him.
(b) The doctor must be sent for at once.

2. (a) He said to me that he should never forget my kindness all the days of his life.
(b) He asked me what I had been doing all that time.
3. (a) The Hitachi Maru was lost on the Indian Ocean.
(b) He is the most skilful aviator that Japan has ever had.
(c) When I have finished this letter, I shall be able to join you.
(d) Having written the letter, I posted it.

(大正八年)

a. Change the Narration (話法を變ぜよ)。

My father in Kyoto wrote to me, saying, "Your letter arrived yesterday."

b. Change the Voice of the Verb (動詞の態を變ぜよ)。

Many books have been written by him.

c. Change into a Complex Sentence (混文に變ぜよ)。

This problem is too difficult to be solved.

d. Insert suitable Prepositions (適當な前置詞を挿入せよ)。

He generally stays—home—rainy weather.

解 答

- (a) My father in Kyoto wrote to me, saying that my letter arrived the day before.
- (b) He has written many books.
- (c) This problem is so difficult that it can not be solved.
- (d) He generally stays at home in rainy weather.

(大正九年)

Correct the errors (誤を正せ)。

1. He reached to England at the end of last month.
2. I have come just now.
3. One should take care of his books.
4. Neither of us were present.

解 答

1. He **reached** England at the end of last month.
2. I **came** just now.
3. One should take care of **one's** books.
4. Neither of us **was** present.

鹿 兒 島 高 等 農 林 學 校

(大正六年)

次の文章に誤あらば訂正せよ。

1. This book's price is very high.
2. Any one can solve a such easy problem.
3. My fountain pen is dearer than your.
4. If you have some money, lend me little.
5. He told them what he had saw and heard in his dream.

解 答

1. **The price of this book** is very high.
2. Any one can solve **such an** easy problem.
3. My fountain pen is dearer than **yours**.
4. If you have **any** money, lend me **a little**.
5. He told them what he had **seen** and heard in his dream.

金 澤 高 等 工 業 學 校

(大正十一年)

Correct the errors (誤を正せ)。

If ~~It~~ our son could has passed the examination, we would be very glad.

解 答

If our son could **have** passed the examination, we **should** be very glad.

熊本高等工業學校

(大正五年)

1. Give the plural of the following nouns.

(次の名詞の複数を記せ)。

(a) box (b) bench (c) country

(d) foot (e) knife

2. Correct the errors, and give reasons (誤を正してその理由を云へ)。

(a) Health are more than wealth.

(b) I have read the book when I was ten years old.

(c) If I tried hard, I might have succeed.

3. Conjugate the verb "To Go" in the indicative mood (the present, past and future tenses only). (直説法に於ける動詞 To Go の變化を示せ)。

解 答

1. (a) boxes (b) benches (c) countries
(d) feet (e) knives

2. (a) Health is better than wealth.

【理由】 Health は Abstract Noun で Third person singular として取扱はれてゐるから、動詞 are は is としなければならぬ。

more は量を示す比較級の Adjective であるから better とせねば意味不明である。

(b) I read the book when I was ten years old.

【理由】 When I was ten years old と云ふ定つた過去の時を示す句がある故 Present Perfect たる have read は用ひてはならぬ、唯の Past を用ひるのが正しいのである。

(c) If I had tried hard, I might have succeeded.

【理由】 この文章は過去の事を假定したのであるから tried は had tried と云ふ Past Perfect の Subjunctive Mood を使用せねばならぬ; succeed は前に在る have と合して Perfect Tense を作るのであるから Past Participle の形即ち succeeded とするのが正しい。

3. To Go の直説法の變化。

	Present	Past	Future
單	{ I go You go he goes	{ I went you went he went	{ I shall go you will go he will go
複	{ we go you go they go	{ we went you went they went	{ we shall go you will go they will go

(大正六年)

1. Tell the part of speech of each word in the following sentence (次の文章に於ける各語の品詞を述べよ)。

I expected the travellers to be here by this time.

2. Give the past and past participle of each of the following verbs (次の動詞の各々の過去と過去分詞とを書け)。

- (a) take (b) draw (c) speak
(d) begin (e) find

3. Change the voice of each verb of the following sentences (次の文章の各動詞の態を變ぜよ)。

- (a) He has written these books.
(b) English is taught in our school.

4. Correct the errors (誤を正せ)。

- (a) Please bring me a pen and a paper.
(b) He is superior than I in writing.
(c) He has often come here last month.

解 答

1. I は Pronoun; expected は Verb; the は Article; travelers は Noun; to は Preposition; be は Verb; here は Adverb; by は Preposition; this は Adjective; time は Noun.

2. (a) took, taken. (b) drew, drawn.
(c) spoke, spoken. (d) began, begun.
(e) found, found.

3. (a) These books have been written by him.
(b) They teach English in our school.

4. (a) Please bring me a pen and **some** paper.
(b) He is superior **to me** in writing.
(c) He often **came** here last month.

(大正七年)

1. Give the case of each noun (各名詞の格を云へ)。

Little drops of water make the mighty ocean.

2. Give the past and past participle of each verb (各動詞の過去と過去分詞とを云へ)。

- (a) become (b) choose (c) drive
(d) grow (e) sleep

3. Point out all the finite verbs, infinitives, and participles in the following sentences (次の文章に於けるすべての finite verb, infinitive 及び participle を指摘せよ)。

(a) England expects every man to do his duty.

(b) Her little dog, barking impatiently, tries to attract her attention.

(c) Books read in childhood seem like old friends.

4. Correct the errors, and give reasons (誤を正して理由を述べよ)。

(a) A boy was set to watch flock of sheeps.

(b) He is the student of Kumamoto Higher Technical School.

(c) When has it taken place?

解 答

1. drops は全文の Subjective Case; water は前置詞 of の

Objective Case; ocean は動詞 make の Objective Case.

2. (a) became, become. (b) chose, chosen.
 (c) drove, driven. (d) grew, grown.
 (e) slept, slept.

3. (a) expects は finite verb; to do は infinitive; (b) barking は present participle; tries は finite verb; to attract は infinitive. (c) read は past participle; seem は finite verb.

4. (a) A boy was set to watch **the** sheep.

【理由】 the は a としても差支へなし、羊の一群の意味である故既に定つた物と見れば the を使用するが、漠然と文章の初めなどに現れた時には a flock とするも宜しい; sheep は単数も複数も同形であるから sheeps は誤である。

- (b) He is a student of **the** Kumamoto Higher Technical School.

【理由】 a student としたのは熊本高工の一學生の意味である; the Kumamoto Higher Technical School としたのは學校の名には定冠詞を置くのが常であるからなり。

- (c) When **did** it take place?

【理由】 When が疑問詞として用ひられた時には verb は Past Tense を使用するのが規則である。

(大正八年)

1. Tell the part of speech of each word in the following sentence (次の文章に於ける各語の品詞を書け)。

The Alps are far grander than these mountain.

2. Rewrite the following sentences changing each

verb into the passive voice (各動詞を passive voice に變じて次の文章を書き直せ)。

- (a) All believed him to be an honest man.
 (b) He told us many stories.

3. Give the past and participle of each verb (各動詞の過去と過去分詞とを書け)。

- (a) drive (b) eat (c) fly
 (d) put (e) sink

4. Correct the errors (誤を正せ)。

- (a) There was so many attending the game that we can not get a seat.
 (b) In diligence he is inferior than none.
 (c) Tell me a name of the boy to whom you met.

解 答

1. the は Article, are は Verb; far は Adverb; grander は Adjective; than は Conjunction; these は Adjective; mountains は Noun.

2. (a) He was believed by all to be an honest man.
 (b) We were told by him many stories.
 3. (a) drove, driven. (b) ate, eaten.
 (c) flew, flown. (d) put, put. (e) sank, sunk.
 4. (a) There ~~were~~ so many attending the game that we ~~could~~ not get a seat.

- (b) In diligence he is inferior to none.
 (c) Tell me the name of the boy (with) whom you met.

(大正九年)

1. Give the past and past participle of each verb
 (各動詞の過去と過去分詞とを示せ)。

- (a) begin (b) cut (c) draw
 (d) rise (e) teach

2. Tell how the following sentences differ from one another in meaning (次の文章の意味の差を述べよ)。

You may go. You can go. You should go.

3. Change the structure of each sentence into a complex one (各文章の構造を Complex Sentence に變ぜよ)。

- (a) First learn your lesson, and then you may play.
 (b) The problem was too difficult to be solved.
 4. Correct the errors.
 (a) The health is more good than the wealth.
 (b) He is going to school on every morning at eight.
 (c) Is this the man who you found at the door?

解 答

1. (a) began, begun. (b) cut, cut. (c) drew, drawn.
 (d) rose, risen. (e) taught, taught.
 2. You may go は「お前は行つてよろしい」と云ふ許可を示し、
 You can go は「お前は行ける」と云ふ可能を示し、You should go
 は「お前は行かねばならぬ、行くべきである」と云ふ必要と同時に義務の意をふくむ。
 3. (a) When you have learned your lesson, you may play.
 (b) The problem was so difficult that it could not be solved.
 4. (a) Health is better than wealth.
 (b) He goes to school every morning at eight.
 (c) Is this the man whom you found at the door?

(大正十一年)

1. Tell the part of speech of each word in the following sentence (次の文章に於ける各語の品詞を述べよ)。

The earth is not flat, as it seems to us to be.

2. Combine the following simple sentences into a complex sentence (次の單文を混文に聯結せよ)。

- (a) How is fire to be made? That is the question first occurring to the mind of a savage.
 (b) He was always contented and happy. Yet he was poor.

解 答

1. the は Article; earth は Noun; is は Verb; not は Adverb; flat は Adjective; as は Conjunction; it は Pronoun; seems は Verb; to は Preposition; us は Pronoun; to は Preposition; be は Verb.

2. (a) How fire is to be made is the question first occurring to the mind of a savage.

(b) Though he was always contented and happy, yet he was poor.

米澤高等工業學校

(大正四年)

1. Convert the following sentence from Direct to Indirect (次の文章を直接話法より間接話法に變ぜよ)。

He said to me, "I was put in jail yesterday."

2. Transform the verb in the following sentence from Active to Passive (次の文章中の動詞を Active より Passive に變形せよ)。

Your want of courage has much disappointed me.

3. Correct mistakes (誤を正せ)。

The horse run away yesterday and kicked whoever stand in his way.

4. Give the Past and Past Participle forms of the following verbs (次の動詞の過去と過去分詞とを書け)。

to cost, draw, feed, choose, hide, mean, let, wear, bind, sweep.

解 答

1. He said to me that he was put in jail the day before.

2. I have been much disappointed by your want of courage.

3. The horse ran away yesterday and kicked whomever stood in his way.

4. cost, cost, drew, drawn; fed, fed; chose, chosen; hid, hidden; meant, meant; let, let; wore, worn; bound, bound; swept, swept.

(大正五年)

I. Correct the errors (誤を正せ)。

1. Though he is American, he can speak the Japanese better than middle-school graduate.

2. Police station is far from school.

3. I could have catch him, if he not been armed with pistol.

4. He, being worked hard, have succeeded in his business.

5. What is the language speaking in India?
6. He and his brother is skating at the pond.
7. I am ashamed for having done so.
8. I have received a letter from him the last Sunday.
9. I fear you shall catch cold, if you not change your clothes at once.
10. When I am thinking of my sick mother I got telegram telling that she passed away.

II. Change the following from Direct into Indirect, and vice versa (次のものを直接話法より間接話法に變じ又間接話法を直接話法に變ぜよ)。

1. He said that he had seen that man long before.
2. My servant told me, "The rain was falling yesterday."

解 答

- I. 1. Though he is an American, he can speak Japanese better than a middle-school graduate.
2. The police station is far from the school.
3. I would have caught him, if he had not been armed with a pistol.

4. Having worked hard, he has succeeded in his business.
5. What is the language spoken in India?
6. He and his brother are skating on the pond.
7. I am ashamed of having done so.
8. I received a letter from him last Sunday.
9. I fear you will catch cold, if you do not change your clothes at once.
10. When I was thinking of my sick mother, I got a telegram telling that she had passed away.
- II. 1. He said, "I saw that man long ago."
2. My servant told me that the rain was falling the day before.

(大正六年)

I. Correct the errors (誤を正せ)。

1. I have waiting for last three hours.
2. I wish I will success in this business.
3. Tell me about anything happened at your school.
4. When does he goes to bed in the night?
5. This book is the same price as that.
6. What have you done to my watch?
7. Tiger is fearful animal than panther.
8. We sell sugar and egg.

II. Change the voice of each finite verb (各 finite verb の態を變ぜよ)。

1. I shall perhaps not have finished this work by the time you call on me to-morrow.

2. You might have been killed, if you had not been protected by me.

解 答

- I. 1. I have **waited** for the last three hours.
 2. I wish I **may succeed** in this business.
 3. Tell me about **everything that** happened at your house.
 4. When does he **go** to bed in the night?
 5. This book is **of** the same price as that.
 6. What have you done **with** my watch?
 7. **The tiger is a more** fearful animal than **the** panther.
 8. We sell sugar and **eggs** by **the** pound.

- II. 1. This work will perhaps not have been finished by the time I am called on by you to-morrow.
 2. They might have killed you, if I had not protected you.

(大正七年)

A. Correct the errors (誤を正せ)。

1. He is yet staying at Tokyo, but we ex-

pect he will have come back till 10 inst.

2. You have not to stand idle. See how are we busily!

3. He can have read the story by heart.

B. Change the voice (Voice を變更せよ)。

He should have written with pen and ink the letter which was addressed to his superior.

解 答

A. 1. He is **still** staying **in** Tokyo, but we expect he will have come back **by the** 10th inst.

2. You **must** not stand idle. See how **busy we are!**

B. His letter which was addressed to his superior should have been written with pen and ink.

(大正八年)

A. Convert the following quotations from Direct into Indirect, and vice versa (次の引用文を直接話法より間接話法に、間接話法より直接話法に變ぜよ)。

1. I said that I was going to call on him that day.

2. His advice was, "You will some day regret it."

B. Correct the errors, if any (誤あらば正せ)。

1. Will I be punished, if I smoke in the room?
2. School begins at 8.
3. When have you returned home?

解 答

- A.** 1. I said, "I am going to call on you to-day."
 2. His advice was that I should some day regret it.
- B.** 1. Am I punished if I smoke in the room?
 2. 誤なし。
 3. When did you return home?

(大正九年)

- A.** Correct errors if any (誤あらば正せ)。
1. He laid down on the grass and lay a book open before him.
 2. It has struck seven just now. Make haste not to be behind time for the school.
 3. Your father was very glad to hear that you have succeeded.
- B.** Insert suitable words in the places indicated by —— (——をもつて印されたる所に適當なる語を挿入せよ)。
1. We can be happy, —— we are poor, —— we are contented.

2. The sound of a gun near at hand startled ——my horse——myself.

解 答

- A.** 1. He lay down on the grass and laid a book before him.
 2. It struck seven just now. Make haste not to be behind time for school.
 3. Your father was very glad to hear that you had succeeded.
- B.** 1. We can be happy, though we are poor, if we are contented.
 2. The sound of a gun near at hand startled both my horse and myself.

廣島高等師範學校

(大正元年)

1. Express the following in the passive voice in two different ways (次の文を Passive をもつて二様に表はせ)。
 The officer gave him an order.
 Who showed you the way?
2. Change the following into indirect quotation (次のものを間接話法に變ぜよ)。

He said to me, "Do you suppose that this state of things is a pleasure to me?"

3. Correct the errors in the following (次の文章中の誤を正せ)。

This class's boys are diligence.

Keep the water hotly.

解 答

- { He was given an order by the officer.
 - { An order was given him by the officer.
 - { By whom were you shown the way?
 - { By whom was the way shown to you?
2. He asked me if I supposed that state of things was a pleasure to him.
3. The boys of this class are diligent.
Keep the water hot.

(大正二年)

1. Write a sentence containing all parts of speech (すべての品詞をふくむ文章を書け)。
2. Parse the following sentence (次の文章を分解せよ)。
The man is respected because he has his high commercial name.
3. Correct the errors, if any, in the following sentences (次の文章に誤あらば正せ)。

(a) I entrusted him in a large sum of money.

(b) The lady who has just stopped singing will be gone to Germany for studying music.

解 答

1. Alas! my promising enterprise has turned out a failure, greatly to the sorrow of my father and myself.
2. the は Article にして man を limit してゐる; men は Noun にしてこの文章の Subject である; is respected は Passive Form の動詞である; because は Conjunction で The man is respected と he has his high commercial name との兩文を聯結してゐる; he は前の the man を受ける Pronoun で次の has の Subject である; has は he を Subject とし次の name を Object とする Verb である; his は Pronominal Adjective である; high は次の commercial と共に name を modify する Adjective である。
3. (a) I entrusted him ~~with~~ a large sum of money.
(b) The lady who has just stopped singing will ~~go~~ to Germany ~~to~~ study music.

(大正三年)

1. Tell the part of speech of "but" in each of the following sentences (次の文章中の but の品詞を述べよ)。
- (a) All but him had fled.
- (b) I go but I shall return soon.
- (c) Life is but an empty dream.
- (d) I found no man but was true to me.

2. Explain the difference between "during" and "while" (during と while との差異を説明せよ)。

3. Correct the errors (誤を正せ)。

(a) I think I will return to home in next week.

(b) Who did you met a few minutes ago?

(c) The wicked woman was died and her son-in-laws delighted very much.

解 答

1. (a) の but は Preposition; (b) の but は Conjunction; (c) の but は Adverb; (d) の but は Relative Pronoun である。

2. during と while とはその意味は普通の場合では同一であるが前者は Preposition にして後者は Conjunction である。

3. (a) I think I will return home next week,

(b) Whom did you meet a few minutes ago?

(c) The wicked woman died and her sons-in-law were very much delighted.

(大正四年)

1. Write sentences to show the difference, (I) later and latter, (II) older and elder, (III) much and many (later と latter, older と elder, much と many の用法の差を示すために文章を作れ)。

2. Change the voice of the following sentence in two different ways (次の文章の voice を二様に變ぜよ)。

His father gave him a dollar.

3. Supply proper prepositions in the blanks of the following (括弧内に適當の語を入れよ)。

(a) He spoke so low that we could hear nothing () the bottom of the hall.

(b) He could smile () their threats; for fortune continued to smile () him.

(c) I congratulate you () your success.

(d) He laughed () me () my conduct.

(e) The river () which I went () my brother abounds () fish; we took a boat and rowed () the stream () the opposite side.

解 答

1. { He is a later riser than I.
 { The latter part of this book is difficult.
 { He is older than you.
 { My elder brother has gone abroad.
 { There is much water in the pail.
 { I have many books.

2. He was given a dollar by his father. A dollar was given him by his father.
3. (a) He spoke so low that we could hear nothing in the bottom of the hall.
 (b) He could smile at their threats; for fortune continued to smile upon him.
 (c) I congratulate you upon your success.
 (d) He laughed at me for my conduct.
 (e) The river to which I went with my brother abounds with fish; we took a boat and rowed across the stream to the opposite side.

(大正五年)

1. Construct sentences to illustrate the capacity of an Adverb to modify a Verb, an Adjective, and another Adverb (動詞、形容詞、副詞を形容する副詞の資格を示すべき文章を作れ)。

2. By the help of suffixes change the following Nouns into Adjectives (suffix の助けに依つて次の名詞を形容詞に変へよ)。

snow, grace, brother, fool, wood.

3. Correct the errors, if any (誤あらば正せ)。
- (a) I am one of those who cannot describe what I do not see.
 (b) Neither of the three will do.

(c) That is the person whom I thought was in fault.

解 答

1. The dog can run fast. (動詞を modify する場合)
 The price is rather high. (形容詞を modify する場合)
 He walks very slowly. (副詞を modify する場合)
2. snowy, graceful, brotherly, foolish, woody.
3. (a) I am one of those who cannot describe what they do not see.
 (b) None of the three will do.
 (c) That is the person who I thought was at fault.

(大正九年)

1. Form abstract nouns from :—
 broad, wide, neutral, splendid, professor.
2. (a) Fill the blanks with personal pronouns of the first person (空所に第一人稱の人稱代名詞を入れよ)。
- (1) Between you and—, I am sorry that he has resigned.
 (2) Nobody volunteered except Edward and—.
- (b) Fill each blank with a verb in the appropriate form (適當の動詞を入れよ)。
- (1) —you to ask me, I should refuse.

(2) I am glad I saw the play, even if I
—a little disappointed.

(3) If you—there, I should have seen you.

解 答

1. broadness, breadth; width, wideness; neutrality; splendour; professorship.
2. (a) (1) Between you and me, I am sorry that he has resigned.
(2) Nobody volunteered except Edward and me.
(b) Were you to ask me, I should refuse. I am glad I saw the play, even if I was a little disappointed.
If you had been there, I should have seen you.

(大正十年)

- I. (1) Fill each blank with an appropriate personal pronoun (適當の人稱代名詞を入れよ)。
 - (a) It is——who did it.
 - (b) We know the author to be——.
- (2) Fill each blank with an appropriate form of the verb 'to be' (to be の適當の形を置け)。
 - (a) He is one of those men who——always out of work.
 - (b) Physics, together with algebra and geometry, ——taught in the first year.

II. Write nouns corresponding to the following adjectives:—

easy, intelligent, necessary, poor, high, generous.

III. Analyze the following sentence:—What is he like?

解 答

- I. (1) a. It is he who did it.
b. We know the author to be him.
- (2) a. He is one of those men who are always out of work.
b. Physics, together with algebra and geometry, is taught in the first year.
- II. Easiness, intelligence, necessity, height; generosity.
- III. What は疑問代名詞; is は finite verb; he はこの文の subject; like は what; like は what を object とする preposition である。

陸軍士官學校

(大正六年)

1. 下の文に誤謬あらば訂正せよ。
 - a. He got up lately this morning.
 - b. I am knowing him well.

2. 下の文の意味を Indicative Mood の Verb を用ひて表はせ。

- a. He may have done it.
b. That gentleman cannot not be a Chinese.

3. 下の文の空所に適當の語を挿入せよ。

- a. He started () a journey.
b. He was honoured () a public funeral after his death.

解 答

1. a. He got up **late** this morning.
b. I **know** him well.
2. a. He **has probably** done it.
b. That gentleman **is not surely** a Chinese.
3. a. He started **on** a journey.
b. He was honoured **with** a public funeral after his death.

(大正七年)

1. 下の文に誤謬あらば訂正せよ。
a. This fact should be bear in mind.
b. He has proeured no any bread.
2. 下の文を適當に一文章に結合せよ。
I went on a trip to the country.

It was at the close of last term that I went.
I was tired out with hard study then.

3. 下の文に句讀點を施して適當なる文章とせよ。

What is the matter with that house I wonder
look at it do you see the black smoke out of
the roof of that house now I know all about it
the house is on fire.

解 答

1. a. This fact should be **borne** in mind.
b. He has procured **no bread**.
2. At the close of last term I, who was then tired out with hard study, went on a trip to the country.
3. What is the matter with that house, I wonder? Look at it. Do you see the black smoke coming out of the roof of that house? Now I know all about it. The house is on fire.

(大正八年)

1. 下の文の意義を變せずして太き文字の部分
を clause に書き改めよ。
a. **To hear him talk**, one would take him
for a fool.
b. **Without air**, no living thing could exist.

2. 下の文の意義を變せずして省略し得る語を省略せよ。

a. Make haste in order that you may see it!

b. When I was young, I was very proud.

3. 次の文中太き文字の part of speech と accent とを其の語の上に記せ。

Some weeks ago Mr. B came **down** to me in a state of **considerable** agitation. He spoke of some **burglary** which, he said, had been **committed** in the West-end, and he appeared, I remember, to be quite **unnecessarily** excited about it.

解 答

1. a. If one heard him talk, one would take him for a fool.

b. If there were no water, no living thing could exist.

2. a. Make haste that you may see it!

b. When young, I was very proud.

3. ago' は adverb; down は adverb で一綴の語なれば accent なし; consid'erable は adjective; bur'glary は noun; commit'ted は Verb; unneces'sarily は adverb.

(大正九年)

1. 下の名詞を形容詞又は動詞に變へてその右方に記入せよ。

(名詞)	(形容詞)	(名詞)	(動詞)
child		destruction	
depth		entrance	
height		error	
hunger		excellence	
mischief		failure	
poverty		invasion	
pride		proof	
sagacity		reliance	
strength		service	
width		success	

2. 下の文に適當なる語を挿入せよ。

He has a great liking () things Japanese.

She has dislike () anything foreign.

Dogs are different () wolves.

He is dependent () his friends.

He is now independent () our assistance.

I can't agree () him.

I can't agree () his proposal.

He was cured () the physician.

He was () his sickness.

解 答

(名詞)	(形容詞)	(名詞)	(動詞)
child	childish	destruction	destruct
depth	deep	entrance	enter
height	high	error	err
hunger	hungry	excellence	excel
mischief	mischievous	failure	fail
poverty	poor	invasion	invade
pride	proud	proof	prove
sagacity	sagacious	reliance	rely
strength	strong	service	serve
width	wide	success	succeed

2. He has a great liking **for** things Japanese.

She has a dislike **to** anything foreign.

Dogs are different **from** wolves.

He is dependent **on** his friends.

He is now independent **of** our assistance.

I can't agree **with** him.

I can't agree **to** his proposal.

He was cured **by** the physician.

He was **anxious about** his sickness.

(大正十年)

1. 次の文中の各語の part of speech をその語の下に記せ。

You are the very men I am looking for.

2. 次の形容詞の比較級と最上級とを夫々其右方に記せ。

thin	fine	free
well-known	happy	gay
ill	famous	tender

3. 次の文中に誤あらば正せ。

(a) What is that building in the top of the mountain?

(b) I knew that you will do it as soon as you can.

解 答

1. You are the very men I am looking for.
代名詞 動詞 冠詞 形容詞 名詞 代名詞 動詞 動詞 前置詞

原 級 比較級 最上級

2. thin	thinner	thinnest.
well-known	better-known	best;known
ill	worse	worst
fine	finer	finest
happy	happier	happiest
famous	more famous	most famous
free	freer	freest
gay	gayer	gayest
tender	tenderer	tenderest

3. (a) What is that building **at** the top of the mountain?
 (b) I knew that you **would** do it as soon as you **could**.

海軍兵學校

(大正七年)

下の括弧内に挿入すべき適當なる英語を記せよ
 (注意: 括弧外の英文は答案に記するを要せず)。

1. We have (一箇月の) holiday in summer.
2. Where did you get (君の本を)?
3. Three escaped, the rest (捕へられた)。
4. We are going (君と同じ汽車で)。
5. The gallant seamen laid down (國のためにその命を)。
6. Won't you come this evening? (はい、参りません)。
7. Which of two do you prefer? (何れでも宜しい)。
8. He has found two houses, (一つは五室今一つは六室の)。
9. Can you speak French? (否、話せれば宜しいですが)。
10. The electric car is run (十五分毎に)。

11. Mrs. Wilson wrote to us that (四月四日に安着した)。
12. I shall be so glad, (御役に立てば)。
13. But for the gallant Japanese, (英國の商船は沈められたのだ)。
14. (何處へ彼が行くのか) is not known to any one.
15. (人は何と云はうが), I will do my duty.

解 答

1. One month's.
2. Your book.
3. were caught.
4. by the same train as yours.
5. their lives for their country.
6. No, I will not.
7. Either will do.
8. one with five rooms, and the other with six rooms.
9. No, I wish I could speak it.
10. every fifteen minutes.
11. she arrived safely on the 4th of April.
12. if I am of any service.
13. the British merchantmen would have been sunk.
14. Where he is going.
15. Whatever people may say.

(大正八年)

I. Fill in the gaps in each section below with suitable forms of the italicized words:—

1. *To make from; to make of; to make with.*

- a. This table.....wood.
- b. The boy.....a kite.....a knife.
- c. Wine.....grapes.

2. *To have on; To put on.*

- a. I am.....a coat now.
- b. What dress is that you.....?

3. *Germany; the German; German; a German.*

- a. What is.....for "book"?
- b. He is.....
- c. He speaks.....well.

II. Combine the following statements into one sentence:—

Three ships sailed. They were small ships. They sailed from Liverpool. Liverpool is a seaport town. It is in English. They sailed on the 5th of May. It was in the year 1918.

III. Correct the errors in the following sentences:—

1. You can hire the boat by hour.
2. He insisted to have his money paid.
3. The beef is more nourishing than the fish.
4. He asked the station-master to his luggage.
5. They just drove the cows to the pasture.
6. He determined that he shall work hard.
7. We are much obliged by you to your help.

解 答

- I. 1. a. This table **is made of** wood.
 b. The boy **made** a kite **with** a knife.
 c. Wine **is made from** grapes.
2. a. I am **putting on** a coat now.
 b. What dress is that you **have on**?
3. a. What is **the German** for "book"?
 b. He is **a German**.
 c. He speaks **German** well.
- II. On the 5th of May, in the year 1918, three small ships sailed from Liverpool, a seaport town in England.
- III. 1. You can hire the boat by **the** hour.
 2. He insisted **on having** his money paid.
 3. **Beef** is more nourishing than **fish**.
 4. He asked the station-master **about** his luggage.

5. They **have just driven** the cows into the pasture.
6. He **determined to** work hard.
7. We are much obliged **to you for** your help.

(大正九年)

1. 下の形容詞の比較級と最上級とを書け。
(1) early. (2) bad.
2. 下の動詞の過去と過去分詞とを書け。
(1) draw. (2) shake.
3. 下の括弧内に適當なる前置詞を書き入れよ。
(1) Nikko is famous () its scenery.
(2) We congratulate you () your success.
(3) He took my hat instead () his own.
(4) He was absent () school.
4. 下の括弧内に適當なる語を書き入れよ。
(1) He was () kind as to show me the way.
(2) He took medicine in order that he () recover.
(3) He was not only a poet, () also a man of affairs.

- (4) Scarcely had he gone out, () his father entered.

解 答

1. (1) early, earlier, earliest.
(2) bad, worse, worst.
2. (1) draw, drew, drawn.
(2) shake, shook, shaken.
3. (1) Nikko is famous **for** its scenery.
(2) We congratulate you **on** your success.
(3) He took my hat **instead of** his own.
(4) He was absent **from** school.
4. (1) He was **so** kind as to show me the way.
(2) He took medicine in order that he **may** recover.
(3) He was not only a poet, **but** also a man of affairs.
(4) Scarcely had he gone out, **when** his father entered.

専門學校檢定試験

(大正十一年)

- A. 1. 次の語に相當する動詞を作れ。
strength, life, sharp, real, wide.
2. 次の名詞の男(女)性を示せ。
nephew, god, hero, marchioness, bride.
- B. 次の文章の誤を正せ。

1. The path that laid before them were covered with grass.
2. Nelson did not agreed to Admiral Parker.
3. The man whom I thought was my friend deceived me.
4. He has returned to home on the day before yesterday.
5. He did what many others have and are doing.
6. You had better not to stay long.

解 答

- A.** 1. strength, strengthen; life, live; sharp, sharpen; real, realise; wide, widen.
2. nephew (男), niece (女); god (男), goddess (女); hero (男), heroine (女); marchioness (女), marquis (男); bride (女), bridegroom (男).
- B.** 1. The path that **lay** before them **was** covered with grass.
2. Nelson did not **agree with** Admiral Parker.
3. The man **who** I thought was a friend of mine deceived me.
4. He returned home the day before yesterday.
5. He did what many others **had done** and **were** doing.
6. You had better **not stay** long.

英文法模擬試験問題集

【解答は巻末に在り】

- (I) 次の文章の誤を正せ。
1. She is diligence girl.
 2. He is idle boy.
 3. I gave him apple and pear.
 4. I gave him a paper.
 5. I saw Englishman with old dog at his heels.
 6. I think they are English merchant.
 7. He is honorable gentleman.
 8. They is honest man.
 9. He saw strange old man stauding by the gate.
 10. What is price of that hat?
 11. I have buy a hat. Price was very high.
 12. Do you know name of that boy?
 13. He have sent me some suger.
 14. Tell me way to your uncle's.
 15. Boys of our school all loves and respects director.
 16. See girls in garden. How cheerful they play!

17. I likes pictures in this book. They are all beauty.

18. We have our class meeting yesterday. Speakers were all eloquence.

19. I will be waiting for boys at station.

20. I sees bird on roof.

(II) 次の文章の誤を正せ。

1. Where does you live?

2. The girls is singing on the upstairs.

3. They has sure been quarrelling.

4. I do not think he shall easy forgive you.

5. Have you came in a bicycle?

6. Will you came in a bicycle?

7. I shall to come again.

8. Have you wrote the letter?

9. The wind is blow hard.

10. What has Taro and Jiro doing?

11. Be always diligence.

12. He was anger with his brother.

13. I am fear that it will rain, for the sky is very cloud.

14. Do not forgot your parents' teachings.

15. I was quite happiness.

16. The child sing very sweetly.

17. The sun shone on the daytime.

18. Almost all the people was terribly wounding.

19. Where has he go?

20. When and why did you went there?

(III) 適當の副詞を補充せよ。

1. He walks —.

2. This is a — easy book.

3. Your exercise is — written.

4. He is — kind to me.

5. — did he go?

6. I will return —.

7. She speaks English — —.

8. He works very—.

9. I like history very —.

10. You must speak — to every one.

(IV) 次の文章の誤を正せ。

1. He and me went together.

2. He were reading and I was write.

3. He am poor, but he am honesty.

4. He am quite honesty although he be poverty.

5. That book on the desk is my.

6. If you goes, I will go too.

7. I is glad you have came.
8. As he is honest not, he is not trust.
9. I don't like him because he are so greed.
10. You must work hard, or you will be fail.
11. He and me played together.
12. I tried to do so, but can not.
13. He could not come, for he is sick.
14. You must be more thrift, or you shall become poor.
15. Be thrifty if you wish become wealth.
16. He is more stronger than his brother.
17. I have hear that he is going to France.
18. He asked me if I know it.
19. Though he is old, he has very active.
20. As he is so honest, he is trusted by all peoples.

(V) 次の文章の誤を正せ。

1. The sky is on us.
2. He has go into the country.
3. I meet him in the street yesterday.
4. What are you laughing?
5. What is you look for?
6. In all these flowers, I like that one best.

7. Who are you speaking of?
8. We must be spoken ill of others.
9. I passed through the woods in my way to church.
10. Your hat is below the desk.
11. I am like this picture.
12. I have came from home.
13. He got up on six o'clock.
14. How distance is it from Tokyo to Yokohama?
15. He values virtue on all other things.
16. He was very kindness to me in that occasion.
17. He has come to Japan last year, and is now living in Tokyo.
18. You must to write your exercise with black ink.
19. I don't know what he wrote it.
20. Look those pretty flowers in the garden.

(VI) 次の文章中の目的格を指摘せよ。

1. He has an organ.
2. Have you seen panorama?
3. What are you looking for?
4. What are you doing?
5. Whom are you praising?

6. The boy caught a fish.
7. I have pictures.
8. What is he doing?
9. Why did you do it?
10. At what price did you sell your house?

(VII) 次の文章の誤を正せ。

1. He is rather idleness, but his brother is very diligence.
2. He do not know the alphabet, he is so ignorance.
3. She is beloved by her friends, because she is very goodness to them.
4. He is not so attention as his brother.
5. Though he is poverty, he is great honesty.
6. How many tooths has a man?
7. He drank three glass of wine?
8. There are many volcanos in Japan.
9. Such many heros died at the battle.
10. I bought a dozen handkerchieves at that shop.
11. There are many deers and sheeps in the zoological garden.
12. The chieves of those tribes are very cruel.

13. Can you tell mices from rats?
14. A line of wild geoses were seen flying in the gray sky.
15. So many peoples encountered similar accidents and their lifes were thereby lost.

(VIII) 次の文章中の直接目的格と間接目的格を指摘せよ。

1. I will tell you an interesting story.
2. He has sent us many samples.
3. What have you given them?
4. Bring me to-day's paper.
5. Whom do you teach English?
6. I will buy you a new watch.
7. Ann likes her doll, and will get it a new hat.
8. He has sold me his house.
9. I have written him a long letter.
10. Fetch me the book, if you please.

(IX) 次の文章を訂正せよ。

1. This book's cover is too thick.
2. This knife's handle is made of ivory.
3. A friend of my brother called on him yesterday.

4. Their father is younger than me.
5. My fountain-pen is dearer than your.
6. Yours watch is good, but my is very bad.
7. Our parents are more indulgent than your.
8. My umbrella was broken, but her was safe.
9. All the boys were kind to each other.
10. I did not buy none.
11. Neither of them did not like to go.
12. One of this two brothers is a lawyer, another naval officer.
13. Are there some who have read it? Yes, there are any.
14. He killed a bird who sang well.
15. The gentleman who you see coming this way is our teacher.
16. A man whom wife is dead is called a widower.
17. Which is the boy to whom father you sent a picture?
18. I have found a watch which machine is broken.

(X) 次の文章の誤を正せ。

1. Whom is coming to see you?

2. Who are you going to visit?
3. Whom do you think I am?
4. Who is this bicycle?
5. What of these two pictures do you think is the better?
6. I will give you this books.
7. The both parents of Mr. Sato are dead.
8. I have been sick this five or days.
9. Anybody must have broken it.
10. The all people objected to a such thing.
11. Who is first President of China?
12. He has many friends, but a few enemies.
13. I was made to pay double usual fares.
14. I don't care for the purse, there was a little money in it.
15. I am sorry I have lost little money.
16. I am glad to think that there are few kind people.
17. I am sorry I have made few mistakes in my composition.
18. Do you know anything of the life of Henry First?
19. He made many money in few years.

20. Much people were assembled before the gate.

(XI) 次の文章の補足語を指摘して、主格補足語か又は目的格補足語なるかを云へ。

1. She is a musician.
2. I think her a musician.
3. The man seems a foreigner.
4. They call him a hero.
5. What do you call it?
6. Who is that gentleman?
7. He grew impatient.
8. He worked hard, and soon got rich.
9. People believe him honest.
10. He is believed honest.

(XII) 次の文章を訂正せよ。

1. I am two years elder than your brother.
2. My oldest brother is the eldest student in the whole school.
3. This is the best of the two.
4. This is the most bad of all.
5. Iron ships are more heavy than wooden ones.
6. He grows more and more strong every day.
7. Which is good, health or wealth?

8. He is brave than wise.
9. There were not much than fifty persons.
10. It is not so well as I expected.
11. It will be certain that we succeed.
12. I shall show you the book when I will have received it.
13. Two and two will make four.
14. When have you seen that gentleman?
15. What will I do with him?
16. Shall you lend me the money for a few days?
17. Do you think I will pass the examination?
18. You will have my answer to-morrow.
19. He shall lend me the book when he will have done with it.
20. In five minutes more he shall have been riding an aeroplane for half an hour.

(XIII) 次の文章を訂正せよ。

1. Your composition is written well than mine.
2. Only a dozen houses are in the village.
3. As he was thought very poor, everybody was not little surprised at his buying such a thing.
4. No one gets up more early than he.

5. Have you no money about you? Yes, I have none.
6. As I have not taken lunch yet, I am little hungry.
7. Though I have taken the medicine, I feel a little better.
8. Are you not afraid to die? Yes, I am not.
9. Six hundred students are in our school.
10. How a magnificent idea it is!
11. Kawachi is the sister-warship of Settsu.
12. Which is the longer, Shinano or Ishikari?
13. England of the Far East is well worthy of her title.
14. He is known to the world as Nelson of Japanese Navy.
15. He is fond of reading the Chikamatsu, Shakespeare of Japan.
16. The fame of Sanyo rests on Nihongwaishi.
17. Emperor Meiji was one of the best and wisest rulers that ever sat on the Japanese throne.
18. A fire broke out near the lodgings which invalid Brown occupies.
19. A letter from Jonathan decided me to set

out for united States of America at once.

20. He was so kind as to lend money to the poor Takahashi at no interest.

(XIV) 次の文章を訂正せよ。

1. Let us stop and rest for one minute or two.
2. Who is that student wearing a striped trouser?
3. Many fine buildings were reduced to ash by the late fire?
4. He cannot be a near-sighted man, for I never saw him wearing a spectacle.
5. His family was all mad with joy at the news.
6. The majority of the crew was rescued.
7. Much thank I got for it.
8. They are building airs-castle in money-making.
9. A great number of horses is raised in this province.
10. The cavalry were routed, but the infantry were victorious.
11. I owe you apology for so long silence.

12. Give me a paper; I am going to write receipt.
13. Your excellency are no doubt aware of latest news of the war.
14. One who is behind times is behind opportunity.
15. No one ever died such heroic death.

(XV) 次の文章を訂正せよ。

1. A seven days journey, and I can be there.
2. Keep out of harm way.
3. I will give you three day's leave of a sence.
4. They welcome whomever talks well.
5. He has written many such books, that is a clear proof of his great energy.
6. All which glitters is not gold.
7. I will give the book to whomever shall earn it by the noblest deed.
8. My success is due to your advice and many thanks for same.
9. You will repent it some day or another.
10. One should do what he is bidden.
11. Anything must have happened.
12. One man's meat is other man's poison.

13. Some one you like will do.
14. No one is without one's faults.
15. What is everything to one man may be nothing to other.
16. If there are on the one hand optimists, there are on another pessimists.

(XVI) 次の文章の名詞の格を云へ。

1. I met a friend of my brother's at my uncle's.
2. I will make the man my c'erk.
3. Bakin was a great novelist.
4. Have you ever read Hakuseki the historian's works?
5. She sings the same song several times a day.
6. I thought the man a flatterer.
7. The man was thought a great flatterer.
8. This child has grown two *sun* since I saw him last.
9. Have you been up Fuji, the highest mountain in Japan?
10. This is five *yen* cheaper than that.

(XVII) 次の文章を訂正せよ。

1. The doctor did not reach the house in the

- time to find the patient alive.
2. She upset at very commencement of storm.
 3. Greeks were first nation of antiquity that became civilised.
 4. United States of America is rich country.
 5. Throughout country Genji and Heishi were at daggers drawn.
 6. *Sake* is at bottom of half misery in world.
 7. He will be Newton in astronomy.
 8. Mr. Sato is last person to contract debt.
 9. Captain was last person to leave sinking ship.
 10. I should like to have him attend to matter without moments delay.
 11. It is not enough for a true Christian to go to the church every Sunday.
 12. The school begins at eight throughout the year.
 13. School stands in the front of prefectural office.
 14. His father is a soldier and a statesman.
 15. Travelling on the foot is less comfortable but more instructive than by the train.

16. The ship will soon weigh the anchor.
17. The number of students who go up Mt. Fuji increases a year after a year.
18. I must go to next village on a special business.
19. You must come back by the next Sunday without fail.
20. Our Allies were victorious on the land and the sea.

(XVIII) 次の文を訂正せよ。

1. What is submarine like?
2. He does not distinguish between the rich and the poor.
3. You will have this fountain-pen as a reward.
4. A man of his character shall not do anything mean.
5. I don't know what to say when he will return.
6. When I shall see him, I shall tell him so.
7. No one can tell when the war comes to an end.
8. I wish my bicycle is a motor-cycle.
9. I wish I did not rely on chances.

10. If it is not for that, he would have succeeded.
11. If it is so, how glad they would be!
12. If the war lasted for another month, it would have ended in the dissolution of the German Empire.
13. I wish I can enter the school without examination.
14. If it were not raining so heavily, he may have arrived already.
15. Be that as it may, he must not be an honest man.
16. He could not have recovered yet, as a full week has not passed since he was taken to hospital.
17. If you tell him to give up drinking, you may as well tell him to give up life.
18. He hired a motor-car, lest he would have failed to catch the train.
19. A man of his character should not do anything mean.
20. You would have adhered to your original object.

(XIX) 次の文章を訂正せよ。

1. Should you comply with my request?

2. He maintained that no peace would be made with them lest they would go to war with him again.
3. A dog barked at nothing is a nuisance.
4. Not confessing his fault they did not pardon him.
5. Your post-card, having addressed to the wrong house, never reached me.
6. Spoken generally, great men are open to flattery.
7. Uniting we stand, dividing we fall.
8. This is a much interesting book.
9. I have been very interes'ed in the book.
10. Have you once seen anyone so mean?
11. I have ever been there to see a warship launched.
12. He finished his work very sooner than usual.
13. We should provide for the evil day.
14. The airship runs in the rate of 60 miles an hour.
15. Poor Tanaka is over all hopes of recovery.
16. He became a doctor of law in the age of thirty.

17. For all his efforts he would not succeed.
18. She became a widow at her twentieth year.
19. With all his rich he is discontented.
20. They robbed me money.

(XX) 次の文章を訂正せよ。

1. He sold his house at ten thousand yen.
2. It is useless to fight with fate.
3. You and I am to blame.
4. Strange to say, no man and no horse were killed in the battle.
5. We have not heard him since then.
6. Our greatest soldier and statesman have passed away in the death of Prince K.
7. There were no man and no officer than were not enraptured with this singular victory.
8. He asked me if I know your present address.
9. We had no doubt they will be easily defeated.
10. He declared that nothing plays a bigger part in this great universal war than flying machines.

11. I feared that he may have failed to catch the express train.
12. He found, as I expected he would, that the watch he has lately purchased is a bad one.
13. He used to preach that a man, when he was young, should have made provision for what he would need, when he was old.
14. He said that the step I have taken is one of much risk.
15. I was told that Mr. Nagata lived somewhere near the park.
16. To do her utmost she could not sing so well as she usually did.
17. Hearing that the fort has already fallen into the hands of our army, the people made haste with the preparations that they may celebrate the great victory with due ceremony.
18. I thought that he will come soon.
19. He told us a story which is highly amusing and instructive.
20. He wears a spectacle only out of love of fashion.

21. How will the earth be if the sun does not shine?

22. You had better to look for him.

解 答

I

1. She is a diligent girl. (彼女は勉強する女の子である)。

【解】 diligence は名詞であるから diligent と云ふ形容詞にせねばならぬ、それから不定冠詞 a をその前に置かねばならぬ。

2. He is an idle boy. (彼は怠惰の男の子である)。

【解】 idle boy の前に不定冠詞 an を要す。

3. I gave him an apple and a pear. (私は彼に林檎一つと梨一つをやつた)。

【解】 apple も pear も単数の Common Noun であるから、apple の前には an を置き pear の前には a を置かねばならぬ。

4. I gave him a piece of paper. (私は彼に紙一枚をやつた)。

【解】 paper は Material Noun であるから a paper と云ふことは出来ぬ、a piece of paper 又は a sheet of paper と云ふべし。

5. I saw an Englishman with an old dog at his heels. (私は後に一頭の老犬を連れた一英國人を見た)。

【解】 Englishman の前に an を又 old dog の前に an を置くべし。

6. I think they are English merchants. (私は彼等が英國の商人であると思ふ)。

【解】 merchant は主格 they が複数であるから、merchants と複数にせねばならぬ。

7. He is **an** honorable gentleman. (彼は榮譽ある紳士である)。

【解】 gentleman は単数の Common Noun であるから、前に不定冠詞を置くべし。

8. They are honest **men**. (彼等は正直な人々である)。

【解】 三人称の複数現在の be の形は are でなくてはならぬ、man は主格が they と云ふ複数であるから、men としなくてはならぬ。

9. He saw **a** strange old man standing by the gate. (彼は門の側に見なれぬ老人の立つてゐるのを見た)。

10. What is **the** price of that hat? (あの帽子の直段はいくらですか)。

【解】 price はあの帽子の直段と云ふのであるから、前に the が必要である。

11. I have **bought** a hat. (私は帽子を買った)。

【解】 buy は現在の形である、have と合併して Perfect Tense を作るには buy の Past Participle の形 bought を使用せねばならぬ。

12. Do you know **the** name of that boy? (あなたはあの男子の名を知つてゐますか)。

【解】 「あの男子の名」と云つて定つた名であるから、前に the を附する必要がある。

13. He **has** sent me some sugar. (彼は私に砂糖を送つてくれた)。

【解】 he は三人称単数であるから、have は has でなくてはならぬ。

14. Tell me the way to your uncle's. (あなたの伯父さんの家へ行く道を教へて下さい)。

【解】 way はこの場合定つた道を云ふのであるから、the を前に附する要がある。

15. **The** boys of our school all love and respect **the** director. (我等の學校の子供等は皆校長を愛して尊敬する)。

【解】 our school として定つた句があるから boys の前には the を置くべし、loves と respects の主格は複数の boys であるから loves は love とし respects は respect としなくてはならぬ。

16. See **the** girls in **the** garden. How cheerfully they play! (庭の中の女の子達を見よ。なんと愉快地に遊んでゐるだらう)。

【解】 girls と garden との前に the を置くべし、又 cheerful は形容詞であるから、cheerfully として副詞になすべし。

17. I like **the** pictures in this book. They are all **beautiful**. (私はこの本の中の繪が好きだ、皆美しい)。

【解】 likes は like として the を pictures の前に置くべし、beauty は名詞なれば形容詞の形 beautiful を用ゆべし。

18. We **had** our class meeting yesterday. (我等は昨日クラスの會をした)。

【解】 yesterday と云ふ過去の副詞がある故、have は had でなくてはならぬ。

19. I will be waiting for the boys at the station.
(私は停車場で男の子達を待つてゐませう)。

20. I see a bird on the roof. (私は屋根の上に一羽の鳥を見ます)。

【解】 sees と云ふ形は三人稱單數の現在にのみ用ひられるのであるから、see とせねばならぬ、又 bird の前には a を置くべし、roof の前には the を置くべし。

II

1. Where do you live? (あなたは何處にお住ひですか)。

【解】 does は三人稱單數の現在にのみ用ひられるのであるから do でなくてはならぬ。

2. The girls are singing upstairs. (女の子達は二階でうたつてゐる)。

【解】 is は三人稱單數の現在にのみ用ひられる故、are でなければならぬ。on the upstairs とは云はず、upstairs は「二階に」又は「二階で」と云ふ副詞であるからこれ丈でよろしい。

3. They have surely been quarreling. (彼等は確かに争つてゐた)。

【解】 has は have とし sure は surely とすべし、sure は形容詞なれば副詞の形 surely とすべし。

4. I do not think he will easily forgive you. (私

は彼が容易にあなたを宥すとは考へない)。

【解】 この場合では單なる推察であるから、shall は will とせねばならぬ、easy は形容詞なれば副詞の形 easily を用ゆべし。

5. Have you come on a bicycle? (あなたは自転車で来ましたか)。

【解】 come は過去の形ゆゑ、過去分詞の形 come を使用すべし、自転車に乗つての意味なれば on とすべし。

6. Will you go with me to the park? (私と一所に公園へ行きますか)。

【解】 gone は過去分詞なれば will と直ちに合することが出来ぬ、go とすべし。

7. I shall come again. (私はまた参ります)。

【解】 shall, will 等の次には to のない不定法の動詞が來るのである。

8. Have you written the letter? (あなたは手紙を書いたか)。

【解】 wrote は單に過去の形であるから上記の如くせよ。

9. The wind is blowing hard. (風は劇しく吹いてゐる)。

【解】 Progressive Form にするには ing を附けねばならぬ。

10. What have Taro and Jiro been doing? (太郎と次郎とは何をしてゐたか)。

【解】 has は主格が複數である故 have とせねばならぬ、doing の前に been を置かねばならぬ。

1. Be always diligent. (常に勤勉であれ)。

【解】 diligence は名詞であるから不可なり、形容詞 diligent を使用せよ。

12. He was **angry** with his brother. (彼は彼の兄弟に對して怒つてゐた)。

【解】 anger は名詞であるから、形容詞 angry を使用せよ。

13. I **fear** that it will rain, for the sky is very **cloudy**. (空が大へん曇つてゐるから雨が降るかも知れない)。

【解】 fear はこの場合動詞であるから am fear と云ふ形は誤りである、I fear の代りに I am afraid としても宜しい、afraid は形容詞である、cloud は雲と云ふ名詞であるから cloudy とせねばならぬ。

14. D. **not forget** your parents' teachings (兩親の教を忘れるな)。

【解】 forgot は過去の形であるから forget としなればならぬ。

15. I was quite **happy**. (私は全く幸福であつた)。

【解】 happiness は名詞である故、形容詞 happy を用ゆべし。

16. The child **sings** very sweetly. (子供は大へん美しくうたふ)。

【解】 child は三人稱單數なる故 sing は sings とせねばならぬ。

17. The sun shone **in** the daytime. (太陽は日中に輝いた)。

【解】 in は on でなくてはならぬ、「いつ幾日に」など云ふ時例へば on the third day などには on なれど daytime の場合には前置詞は in である。

18. Almost all the people **were** terribly wounded.

(殆どすべての人は恐しく負傷した)。

【解】 people は複數なれば was は were でなければならぬ、wounding は wounded として Passive の形にすべし。

19. **Where did** he go? (彼は何處へ行つたか)。

【解】 has go と綴く形は文法上ない、若し has を保留して置く時は where has he **gone**? とすべし。

20. **When and why did** you go there? (いつ又なぜ彼は其處へ行つたか)。

【解】 did が既に過去の形であるから別に過去の形を用ひるに及ばず go にて宜し。

III

1. He walks **fast**. (彼は速く歩む)。

2. This is a **very** easy book. (これはごく容易な本である)。

3. Your exercise is **well** written. (あなたの練習はよく書けてゐる)。

4. He is **very** kind to me. (彼は私に大へん親切である)。

5. **Where did** he go? (何處へ彼は行つたか)。

6. I will return **here**. (私は此處へ歸つてくる)。

7. She speaks English very well. (彼女は英語を大へんよく話す)。

8. He works very **hard**. (彼は大へん熱心に働く)。

9. I like history very **much**. (私は大に歴史を好む)。

10. You must speak **gently** to every one. (お前はだれにでも静かに話ししなければならぬ)。

IV

1. He and I went together. (彼と私は一所に行った)。

【解】 me は目的格の形であるから主格には I を使用せねばならぬ。

2. He **was** reading and I **was** writing. (彼は讀書してゐて、私は書いてゐた)。

【解】 were は you 又は they に用ひるので he の場合には was でなくてはならぬ、was write と云ふ形は文法上許されない、was writing とすべし。

3. He **is** poor, but he **is** honest. (彼は貧乏であるが、正直である)。

【解】 am は I の場合に限る動詞であるから、is を用ひなければならぬ、honesty は名詞であるから、形容詞の形 honest を用ひよ。

4. He **is** quite **honest**, although he **is** poor. (彼は貧乏であるが、全く正直である)。

【解】 前の例 3. と同じである。

5. That book on the desk **is** mine. (机の上のあの本は私のである)。

【解】 my は單獨には用ひられない、必ず名詞と共に使用されるのである、斯かる場合には mine を用ゆべし。

6. If you go, I will go too. (あなたが行くなら私も行きます)。

【解】 goes は三人稱の單數現在の場合に限り用ひられるのであるから、you の場合には go でなくてはならぬ。

7. I **am** glad you have **come**. (私はあなたの來たのを悦ぶ)。

【解】 is は三人稱の單數の場合に用ひられるのであるから、I の時は am でなくてはならぬ、又 have come と云ふのは文法上ない形で、これは have come としなければならぬ。

8. As he **is** not honest, he **is** not trusted. (彼は正直でないから、信用されない)。

【解】 not は動詞に附くべきものであるから、此處では is の次に置くのが至當である、trust は passive の形即ち trusted とせねばならぬ。

9. I don't like him, because he **is** so greedy. (彼は慾張りであるから、私は好まぬ)。

【解】 are は is とすべし、greed は名詞であるから、greedy とすべし。

10. You must work hard, or you will fail. (あなたは熱心に働かなければならぬ、さもないと失敗するでせう)。

【解】 be fail と云ふ文法上の結合はない、fail は動詞であるから be を取り去つて宜しい。

11. He and I **played** together. (彼と私は共に遊んだ)。

【解】 me は I とせねばならぬ。

12. I tried to do so, but **could** not. (私はさうしやうと

試みた、けれども出来なかつた)。

【解】 tried が過去の形であるから、can は could としなければならぬ。

13. He could not come, for he **was** sick. (彼は病氣であつたので、來ることが出来なかつた)。

【解】 could に対して is は was とせねばならぬ。

14. You must be **thriftier**, or you **will** become poor. (お前もつと儉約しなければならぬ、さもないと貧乏になるだらう)。

【解】 thrift は名詞であるから、この點からだけ見ても thrifty としなければならぬ、處がこれを比較級にするには **thriftier** するのである、you shall はこの場合意味の上から見て不適當である、單なる未來を示すのであるから you will とするのが宜しい。

15. Be thrifty if you wish to become **wealthy**. (金持ちにならんと望むならば儉約せよ)。

【解】 wish の次に前置詞 to がなくては wish と become との關聯が取れない、wealth は名詞であるから、wealthy とすべし。

16. He is **stronger** than his brother. (彼は彼の兄弟よりも丈夫だ)。

【解】 stronger が既に比較級であるから、more を前に附する必要なし。

17. I **hear** that he is going to France. (彼が佛國へ行くのだと云ふ話です)。

【解】 I hear は I have heard としても宜しい、I have hear と云ふ形は英語にはない。

18. He asked me if I **knew** it. (彼は私が之れを知つてゐるかときいた)。

【解】 asked が過去であるから、know も knew としなければならぬ。

19. Though he is old, he is very active. (年をとつてゐるが、彼は大いに活動的である)。

20. As he is so honest, he is trusted by all **people**. (彼は大へん正直なので、すべての人に信用される)。

【解】 people は形は單數に見えるが、意味は複數であるから peoples とするのは誤りである。

V

1. The sky is **over** us. (空は我等の上に在る)。

【解】 on は接觸して上に在ると云ふ意味で、over は頭上一面にの意味であるから此の場合には over が宜しい。

2. He has **gone** into the country. (彼は田舎へ行つた)。

【解】 文法上 has go と云ふ形はない、has gone としなければならぬ。

3. I **met** him in the street yesterday. (私は昨日町で彼に會つた)。

【解】 yesterday と云ふ過去の副詞があるから meet は met としなければならぬ。

4. What are you laughing at? (あなたは何を笑つてゐるか)。

【解】 laugh は自動詞であるから Object を取る時には前置詞 at を要する。

5. What are you looking for? (あなたは何を探してゐるか)。

【解】 is は are でなくてはならぬ、look は looking として Present Participle とならねばならぬ。

6. Of all these flowers, I like that one best. (すべてこれ等の花の中で、私はあれを一番好む)。

【解】 in は of でなくてはならぬ、最上級の後に來てその最上級に依つて表はされたと同一種類の物を表はす名詞が後に置かれる時には in でなく of を用ひるのが普通である。この場合には of all these flowers が前に置かれた例であるが普通は文章の後に置かれるのである。

7. Whom are you speaking of? (あなたはたれのことを云つてゐるのですか)。

【解】 of は whom に關聯するのであるから who では誤りである。

8. We must not speak ill of others. (我等は他人の悪口を云つてはならぬ)。

【解】 「云つてはならぬ」と云ふのであるから、must not speak である。

9. I passed through the woods on my way to the church. (私は教會へ行く途中で森を通り抜けた)。

10. Your hat is under the desk. (あなたの帽子は机の下に在る)。

【解】 below は唯だ位置の低いのを云ふのであるから under を此處では用ひなくてはならぬ。

11. I like this picture. (私はこの繪がすきだ)。

【解】 I am like this picture と云へば「私はこの繪のやうだ」と云ふ意味となる。

12. I have come from home. (私はうちから來た)。

【解】 came は come としなければならぬ、その理由は前に再三述べた。

13. He got up at six o'clock. (彼は六時に起きた)。

【解】 時間を云ふ時には前置詞は at である。

14. How far is it from Tokyo to Yokohama? (東京から横浜までどの位遠いか)。

【解】 distance は名詞であるから此の場合用ひてはならぬ、far を用ひるのが普通である。

15. He values virtue above all other things. (彼は特に美德を尊ぶ)。

【解】 above all other things は above the rest 又は above all と同一の意味で「第一に」又は「特に」の意味である。

16. He was very kind to me on that occasion. (彼はその場合に私に大へん親切でした)。

【解】 kindness は名詞であるから、kind としなくてはならぬ、occasion (場合)の前には前置詞は on である。

17. He came to Japan last year, and now lives